

平成
27年度

浦安の子どもたちの
確かな学力の向上を目指して

浦安市学力調査結果

目次

小学校4年生 国語（結果と課題・指導改善例） P 4

小学校4年生 算数（結果と課題・指導改善例） P 1 4

中学校2年生 国語（結果と課題・指導改善例） P 2 2

中学校2年生 数学（結果と課題・指導改善例） P 3 2

中学校2年生 英語（結果と課題・指導改善例） P 4 0

目的

- 市立各小中学校児童生徒の学習指導要領に示された学力の定着状況を客観的に把握する。
- 調査結果を授業改善に生かすとともに、指導方法の改善を図る資料とし、個に応じた指導や確かな学力の向上を図る手立ての一助とする。

結果の取り扱いについて

- 調査結果は学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることを踏まえ、指導法の改善等に活用する。

小 4 国 語

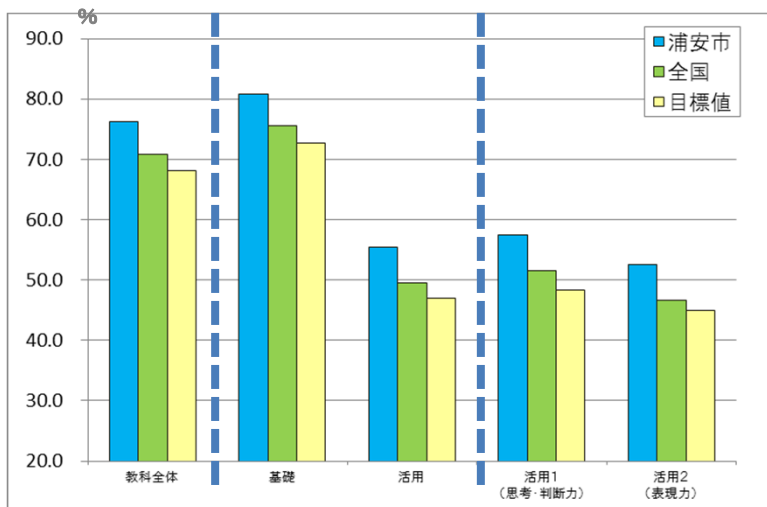


教科全体・観点別・領域別正答率 一覧表

分類	区分	平均正答率(%)		目標値 (%)
		浦安市	全国	
教科全体		76.3	70.9	68.0
基礎		80.8	75.5	72.6
活用	思考・判断力	57.4	51.5	48.3
	表現力	52.5	46.6	45.0
観点	話す・聞く能力	80.1	77.2	73.3
	書く能力	71.9	65.2	63.0
	読む能力	72.2	65.3	61.3
	言語についての知識・理解・技能	77.2	72.5	70.6
領域	話すこと・聞くこと	80.1	77.2	73.3
	書くこと	76.7	69.9	67.5
	読むこと	72.2	65.3	61.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	77.8	73.2	71.2

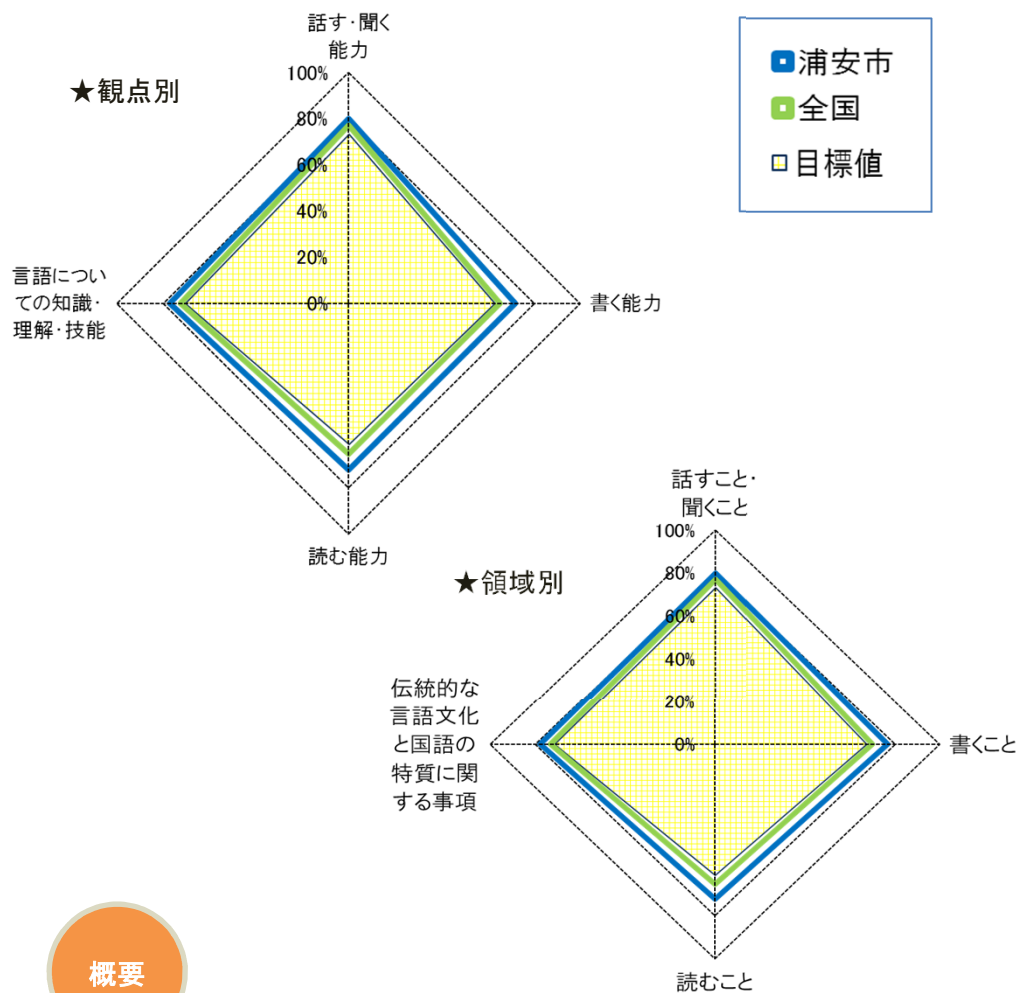
* 目標値とは、学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、小ごとくに正答できることを期待した児童生徒の割合を示したもので、「出題形式」や「解答形式」を基に初期設定した数値を、プレテスト等の検証を通じて適宜補正したものです。

教科全体 基礎・活用 正答率グラフ



「教科全体」は「基礎」と「活用」の合算値に、「活用」は「活用1」と「活用2」の合算値になっています。

観点別・領域別 レーダーチャート



概要

教科全体の正答率は全国値を5.4ポイント上回っています。すべての観点・領域の正答率は、全国ならびに目標値を上回る結果となっています。

平成26年度と平成27年度 平均正答率一覧表

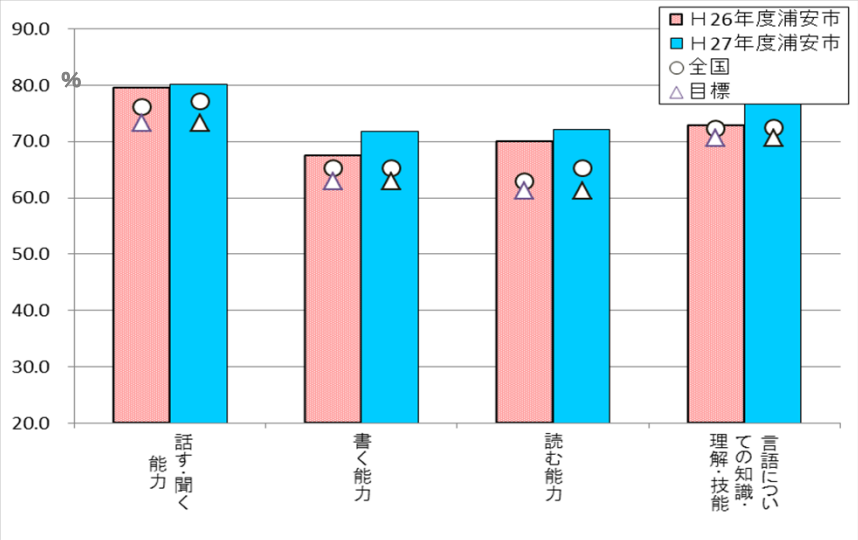
		平均正答率(%)					
		H26年度			H27年度		
		浦安市	全国	目標値	浦安市	全国	目標値
教科全体		73.0	70.1	68.0	76.3	70.9	68.0
観点	話す・聞く能力	79.7	76.1	73.3	80.1	77.2	73.3
	書く能力	67.6	65.3	63.0	71.9	65.2	63.0
	読む能力	70.1	63.0	61.3	72.2	65.3	61.3
	言語についての知識・理解・技能	72.9	72.3	70.6	77.2	72.5	70.6
領域	話すこと・聞くこと	79.7	76.1	73.3	80.1	77.2	73.3
	書くこと	71.6	70.5	67.5	76.7	69.9	67.5
	読むこと	70.1	63.0	61.3	72.2	65.3	61.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	73.6	72.9	71.2	77.8	73.2	71.2

* 目標値とは、学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、小問ごとに正答できることを期待した児童生徒の割合を示したもので、「出題形式」や「解答形式」を基に初期設定した数値を、プレテスト等の検証を通じて適宜補正したものです。

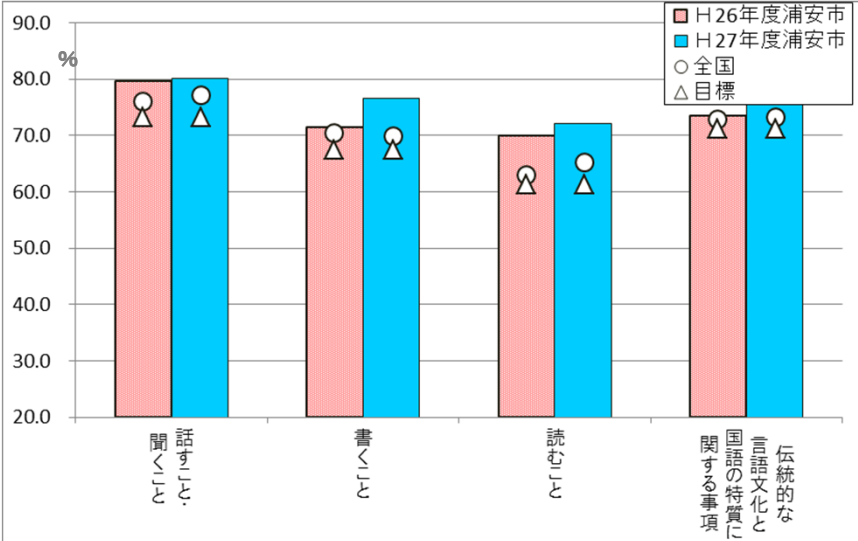
H26年度と同様、すべての観点・領域別の正答率は全国・目標値を上回っています。
 観点別「話す・聞く能力」、領域別「話すこと・聞くこと」については、全国値・目標値に近い値となっています。

平成26年度と平成27年度 経年比較グラフ

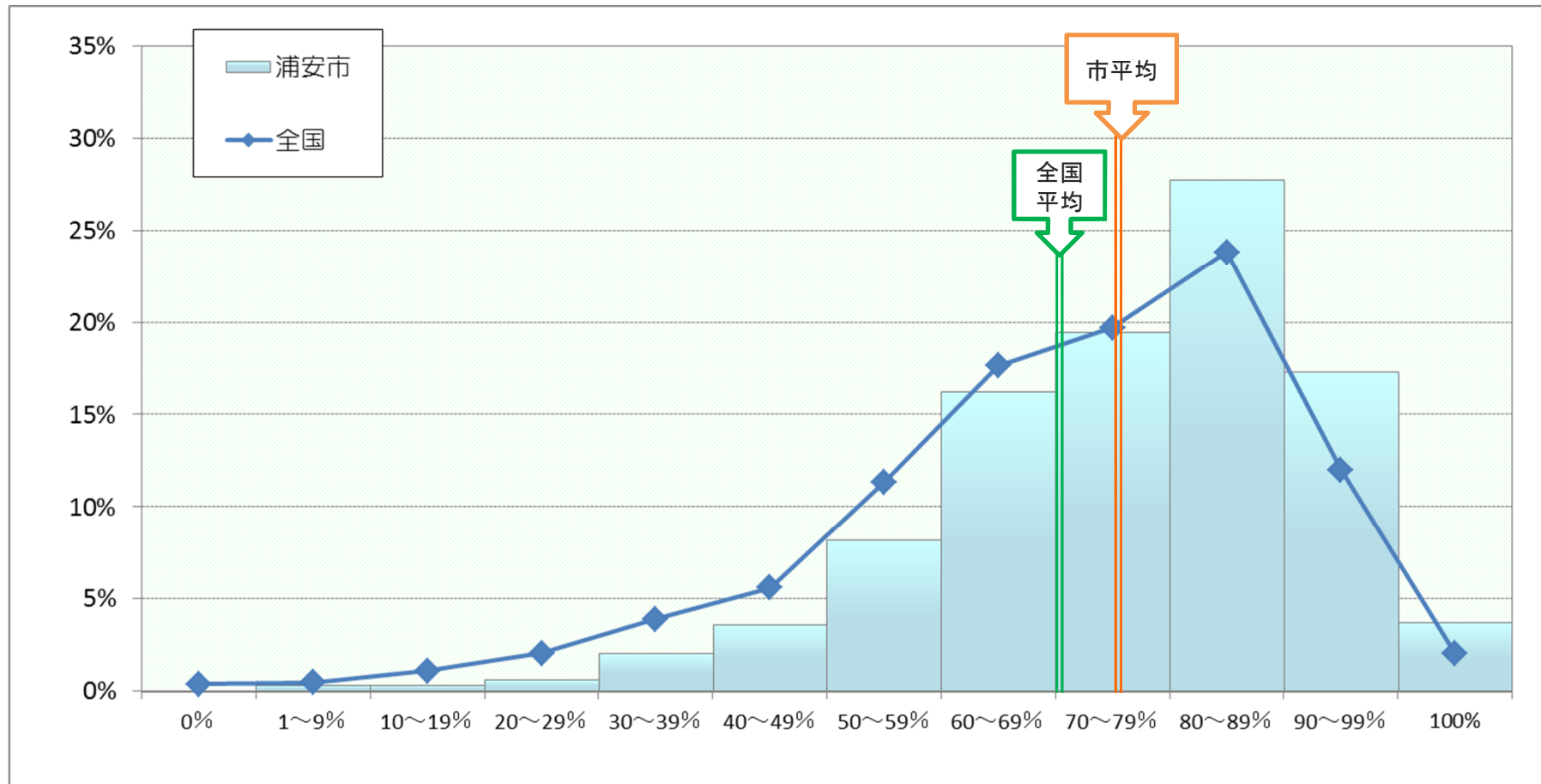
★観点別



★領域別



平成27年度正答率度数分布



度数分布について

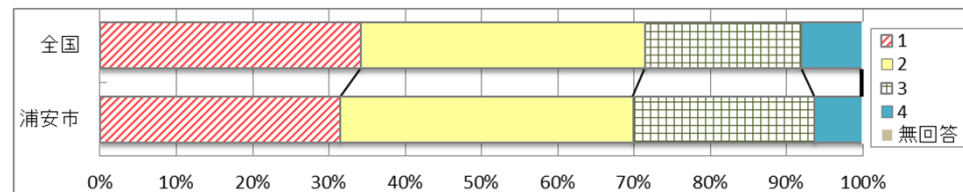
浦安市の正答率度数分布を見ると、全国と比べて正答率が80~89%、90~99%の児童の割合が高いことが分かります。
正答率が70%以上の児童の割合は、68%と半数を超えていると共に、全国(57%)を10ポイント以上上回っています。

平成27年度 質問紙調査結果

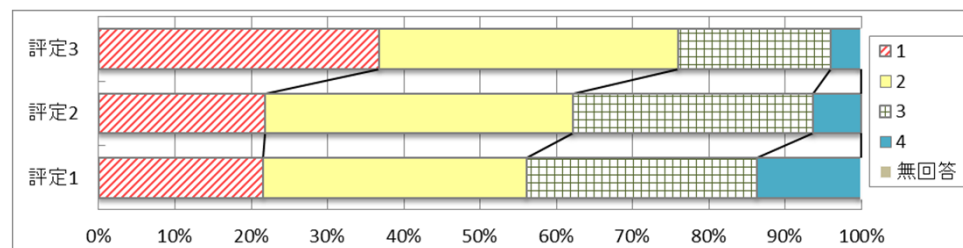
「国語の勉強は好きですか」

	1 すぎ	2 わりとすぎ	3 あまりすぎで はない	4 きらい	無回答	
全国	34.2	37.3	20.6	7.7	0.3	
浦安市	31.5	38.4	23.8	6.1	0.2	
評定	3	36.8	39.2	20.0	3.8	0.2
	2	21.8	40.3	31.5	6.3	0.0
	1	21.6	34.5	30.2	13.4	0.3

★市全体と
全国との比較



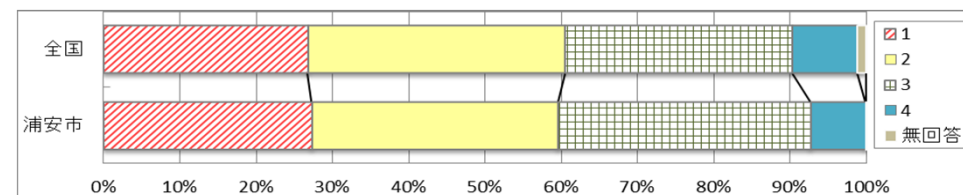
★学力調査の
評定別結果



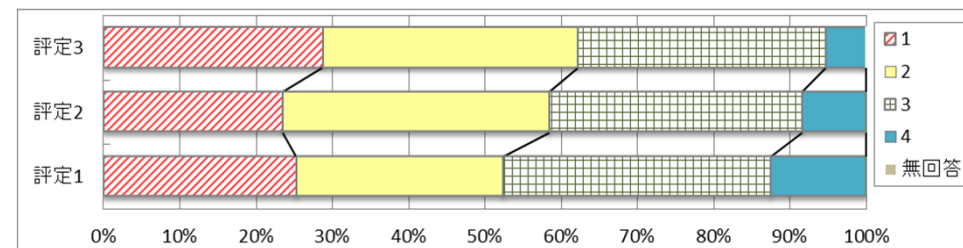
「自分の思っていることや、考えていることを、まわりの人に話しますか。」

	1 話す	2 わりと話す	3 あまり話さない	4 話さない	無回答	
全国	26.8	33.7	29.8	8.5	1.2	
浦安市	27.3	32.3	33.1	7.2	0.1	
評定	3	28.7	33.4	32.5	5.2	0.1
	2	23.5	34.9	33.2	8.4	0.0
	1	25.3	27.1	35.1	12.5	0.0

★市全体と
全国との比較



★学力調査の
評定別結果



◎評定3: 学力調査結果が目標値を上回った児童

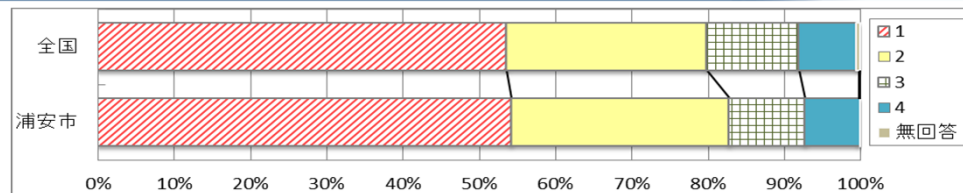
○評定2: 学力調査結果が目標値と同程度だった児童

▲評定1: 学力調査結果が目標値を下回った児童

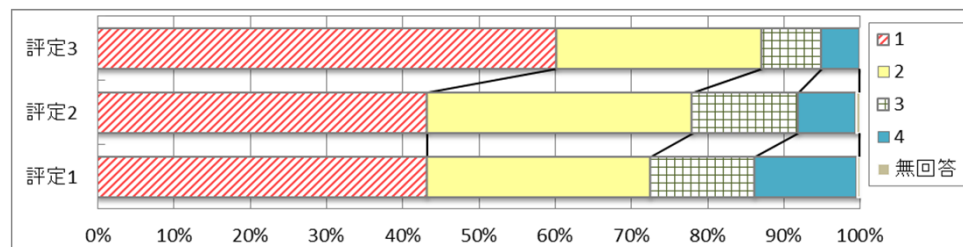
「この1ヶ月の間に、何さつぐらい本(マンガ・ざっしをのぞく)を読みましたか」

	1 4さつ以上	2 2~3さつ	3 1さつくらい	4 読まない	無回答	
全国	53.7	26.3	12.1	7.6	0.4	
浦安市	54.3	28.6	9.9	7.0	0.2	
評定	3	60.3	27.0	7.8	4.9	0.1
	2	43.3	34.9	13.9	7.6	0.4
	1	43.3	29.3	13.7	13.4	0.3

★市全体と
全国との比較



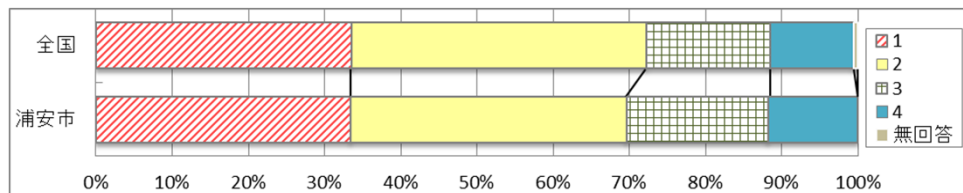
★学力調査の
評定別結果



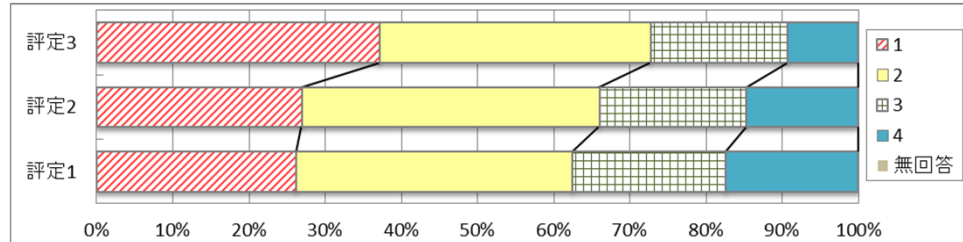
「わからない言葉がでてきたら、国語じてんで調べますか。」

	1 調べる	2 ときどき調べ る	3 あまり調べな い	4 調べない	無回答	
全国	33.5	38.7	16.3	11.0	0.5	
浦安市	33.4	36.2	18.6	11.8	0.0	
評定	3	37.2	35.5	18.0	9.3	0.0
	2	26.9	39.1	19.3	14.7	0.0
	1	26.2	36.3	20.1	17.4	0.0

★市全体と
全国との比較



★学力調査の
評定別結果



◎評定3: 学力調査結果が目標値を上回った児童 ○評定2: 学力調査結果が目標値と同程度だった児童 ▲評定1: 学力調査結果が目標値を下回った児童

結果
について

読書の習慣に関しては、全国に比べて1か月に4冊以上読むと回答した児童の割合が高く、良好な読書の習慣が身につけていることがわかります。

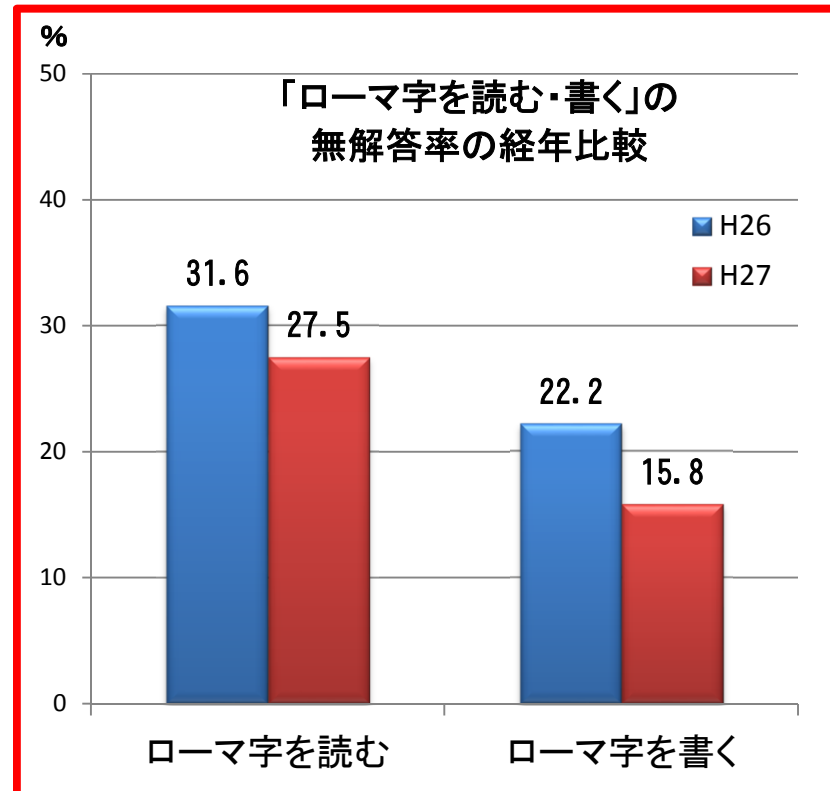
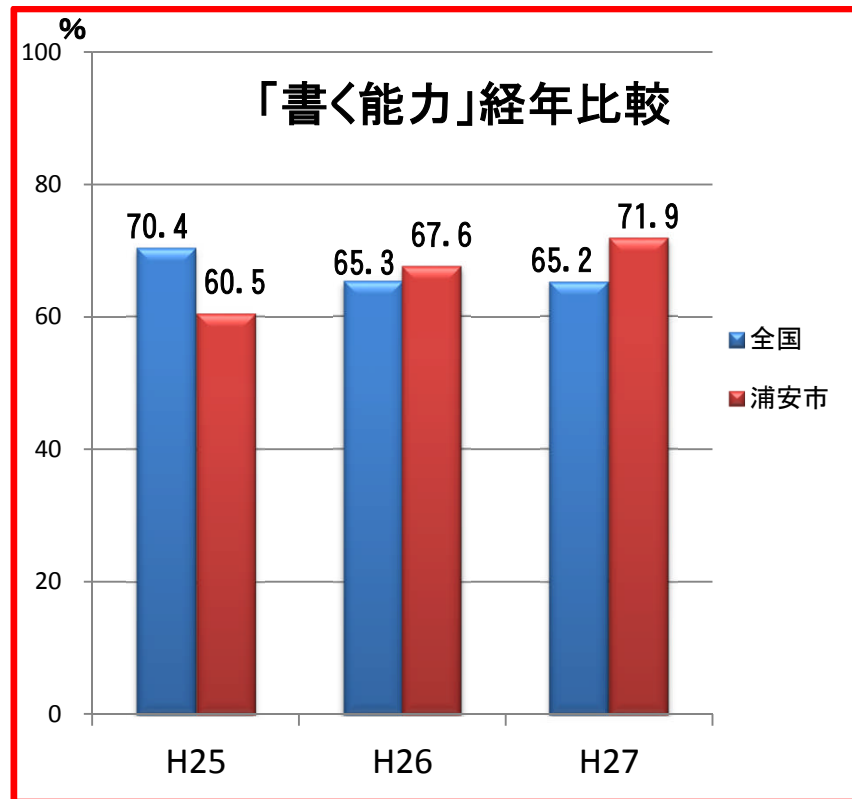
学力調査結果の目標値を下回っている児童の約1割以上は、1か月間に1冊も本を読まないという回答結果となっています。



<優れている点・改善が見られた点>

【「書く能力」が更に上昇】

【「ローマ字を読む・書く」の無解答率が減少】



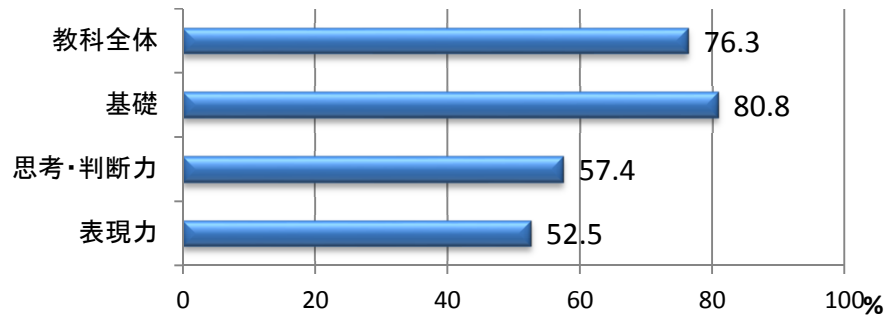
「書く能力」の経年比較をみると、H26年度は全国を2.3ポイント、更にH27年度は全国を6.7ポイント上回っています。書く能力を課題として取り上げたH25年度から見ると、11.4ポイントの伸びが見られます。各学校での「書く能力」向上のための継続した取組の成果がうかがえます。

H27年度は、「ローマ字を読む」の無回答率が4.1ポイント、「書く」の無回答率が6.4ポイント減少しています。

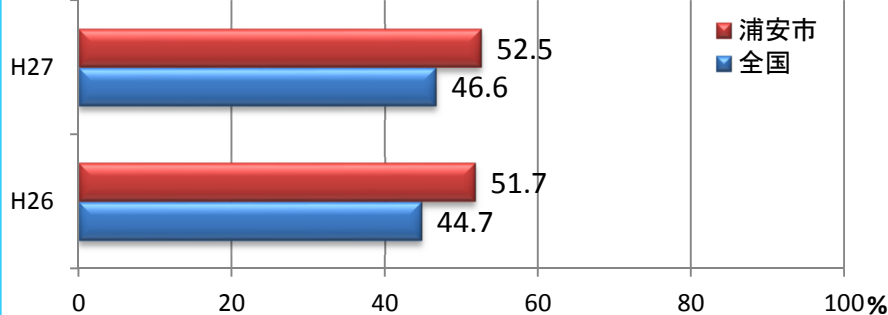
<課題が見られる点>

「表現力(活用)」

表現力(活用)の正答率



表現力の経年変化



表現力の正答率は、全国平均値を上回っているものの、教科全体の中で一番低くなっています。H26年度と比較すると、伸びていますが、全国との差は縮まっています。辞書を活用して、語彙を増やすなどし、表現力の基になる知識をつけたり、伝えたいことを上手に伝えたりすることを日々意識することが大切です。

<指導改善例>

【日常の取組】



- 児童の実態にあった言語活動を位置づける
例) 報告文を書く 感想を交流する 音読発表会を開く
- 語彙を増やし表現に生かす
 - ・辞書の活用の日常化
 - ・気持ちを表す言葉集め

【他教科との関連】

- 総合的な学習の時間
 - ・国語で学習した内容を、発表や交流で生かす
例) 原稿の作り方 話し方や聞き方

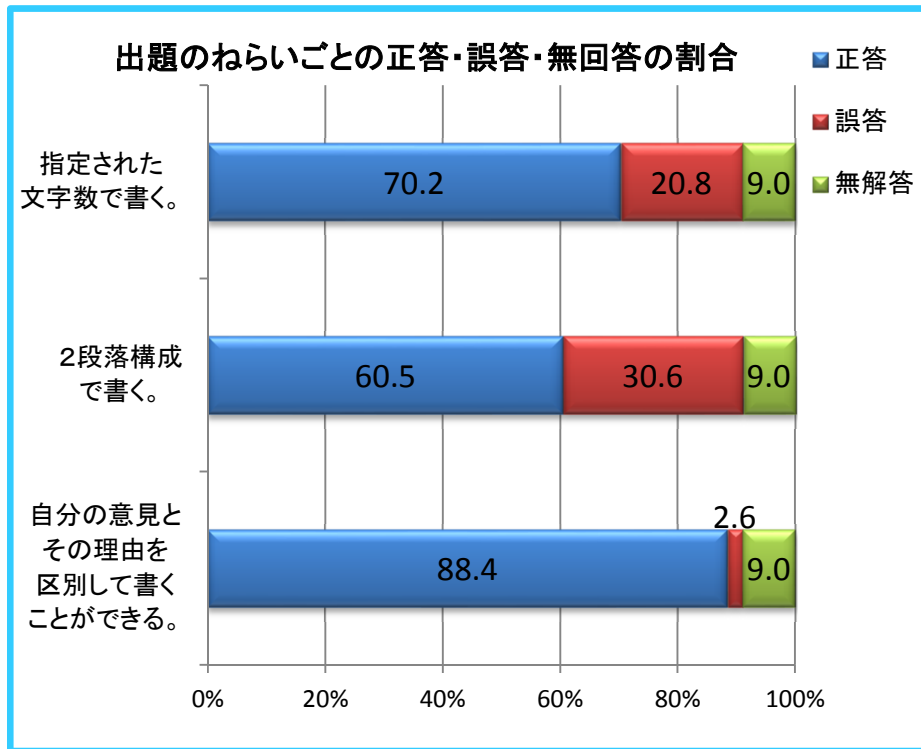
【学年や学校全体での取組】

- 新聞の活用
 - ・新聞の感想を掲示したり、発表したりする
- 学習発表会
 - ・発表や交流の場として



<課題が見られる点>

「作文」の出題のねらいごとの正答率



【日常の取組】

- メモの活用
 - ・付箋などを活用して作文メモを作り、「はじめ・なかおわり」のまとまりをつくり、文章構成を考える
- 文字数の指定
 - ・要点を書く、あらすじを書く、感想を書くなどの課題にあった適切な文字数を指定して書く
- 書く活動の日常化
 - ・日記やミニ作文に取り組むことで、書くことへの抵抗感を軽減する
- 練習として
 - 「学びの突破口ガイド」の活用
例) 中学年版「本のしょうかい文を書こう(文の構成を考えて書く)」

【他教科との関連】

- 算数・理科・社会で
 - ・学習のまとめを根拠を明確にして、自分で書く活動の習慣化

作文を出題のねらいごとに見ると「2段落構成で書く」の正答率が低くなっています。誤答・無回答合わせると39.5ポイントになっています。段落構成や文字数の指定など与えられた条件に沿って文章を書くことや、作文の書き方のきまりを身に付けていくことが大切です。

小 4 算 数

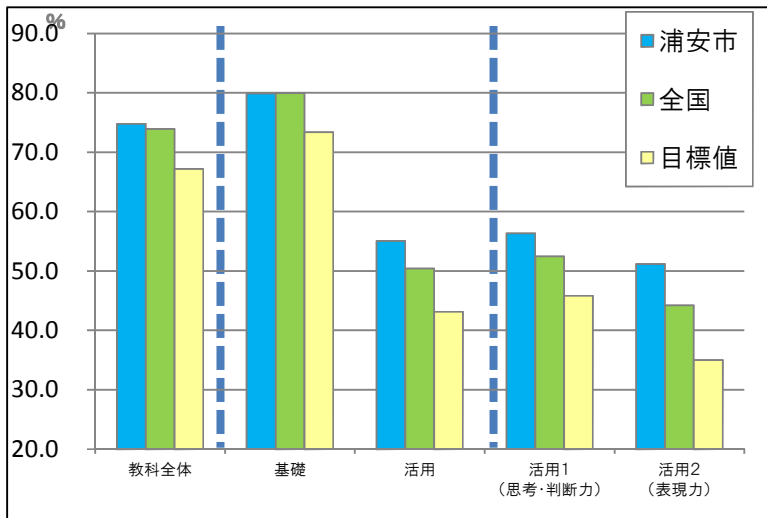


教科全体・観点別・領域別正答率 一覧表

分類	区分	平均正答率(%)		目標値 (%)
		浦安市	全国	
教科全体		74.8	73.9	67.2
基礎		79.9	80.0	73.4
活用	思考・判断力	56.3	52.5	45.8
	表現力	51.2	44.3	35.0
観点	数学的な考え方	60.5	58.4	51.0
	数量や図形についての技能	77.8	77.3	71.2
	数量や図形についての知識・理解	76.5	75.6	68.3
領域	数と計算	74.7	74.5	67.8
	量と測定	77.0	75.2	70.7
	図形	64.8	63.5	57.5
	数量関係	79.9	77.7	67.0

* 目標値とは、学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、小問ごとに正答できることを期待した児童生徒の割合を示したもので、「出題形式」や「解答形式」を基に初期設定した数値を、プレテスト等の検証を通じて適宜補正したものです。

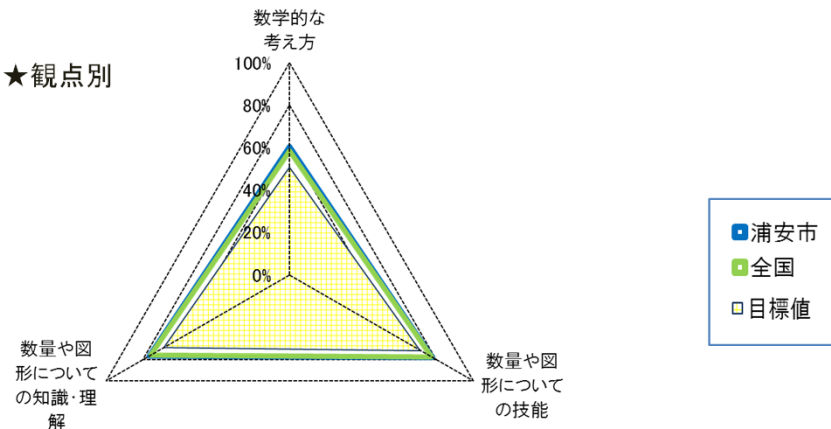
教科全体 基礎・活用 正答率グラフ



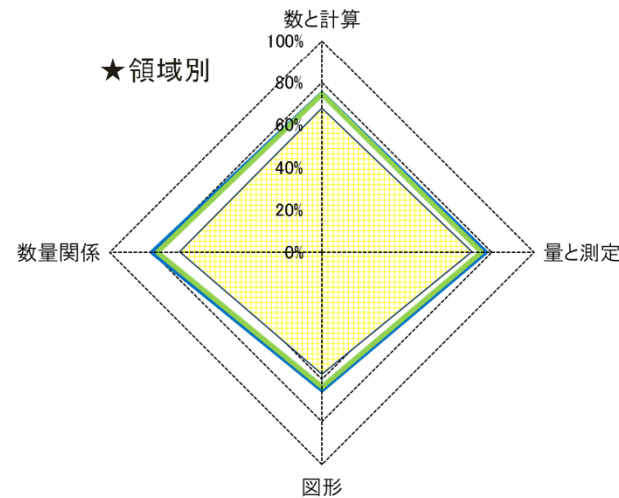
「教科全体」は「基礎」と「活用」の合算値に、「活用」は「活用1」と「活用2」の合算値になっています。

観点別・領域別 レーダーチャート

★観点別



★領域別



概要

教科全体の正答率は、全国値を0.9ポイント上回っています。観点「数学的な考え方」をはじめ、全ての観点、領域正答率を見ても、全国値ならびに目標値を上回る結果となっています。

平成26年度と平成27年度 平均正答率一覧表

		平均正答率(%)					
		H26年度			H27年度		
		浦安市	全国	目標値	浦安市	全国	目標値
教科全体		74.3	72.6	67.2	74.8	73.9	67.2
観点	数学的な考え方	60.0	56.7	51.0	60.5	58.4	51.0
	数量や図形についての技能	77.2	76.4	71.2	77.8	77.3	71.2
	数量や図形についての知識・理解	76.3	73.9	68.3	76.5	75.6	68.3
領域	数と計算	74.4	73.1	67.8	74.7	74.5	67.8
	量と測定	76.2	74.4	70.7	77.0	75.2	70.7
	図形	65.6	62.2	57.5	64.8	63.5	57.5
	数量関係	78.2	76.0	67.0	79.9	77.7	67.0

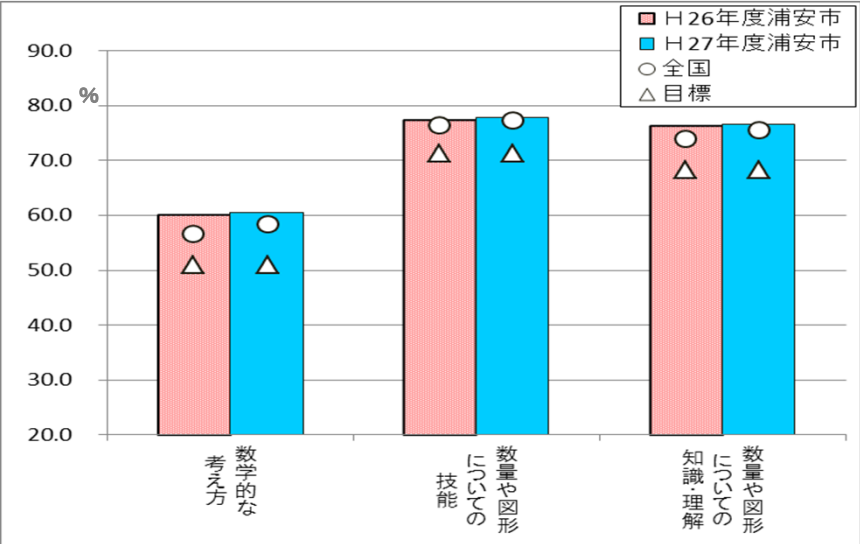
* 目標値とは、学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、小問ごとに正答できることを期待した児童生徒の割合を示したもので、「出題形式」や「解答形式」を基に初期設定した数値を、プレテスト等の検証を通じて適宜補正したものです。

観点別に見ると、H26年度と比較して、わずかですがすべての観点において上回っています。

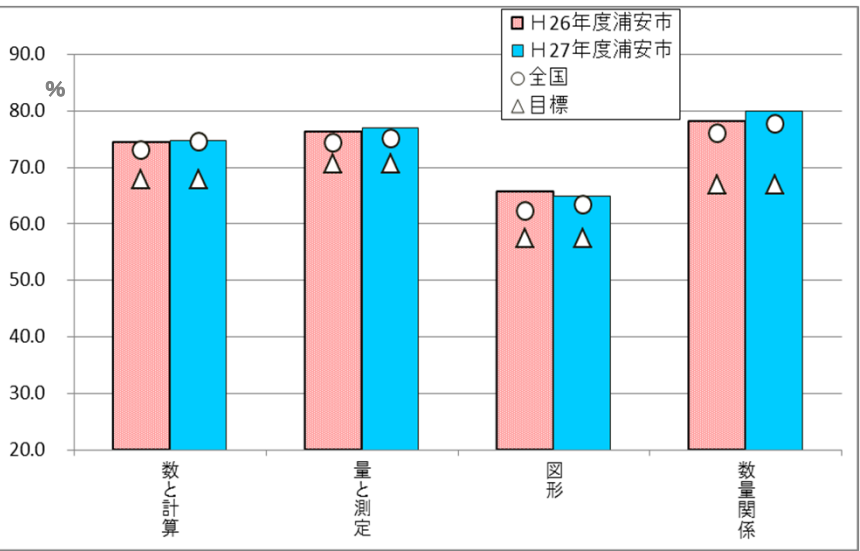
領域別に見ると、H26年度と比較して、「図形」は下回っていますが、それ以外の観点では若干上回っています。

平成26年度と平成27年度 経年比較グラフ

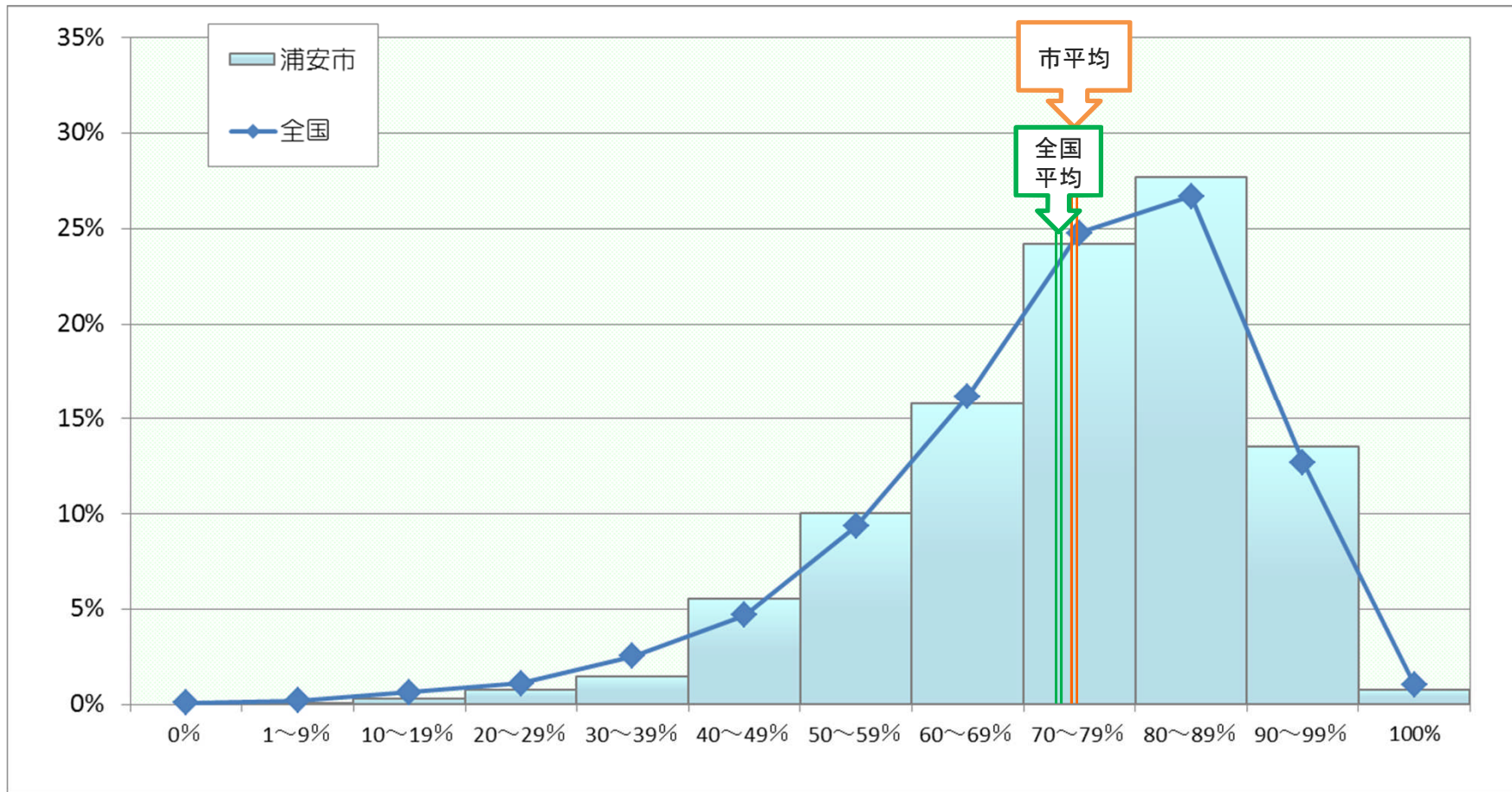
★観点別



★領域別



平成27年度正答率度数分布



度数分布について

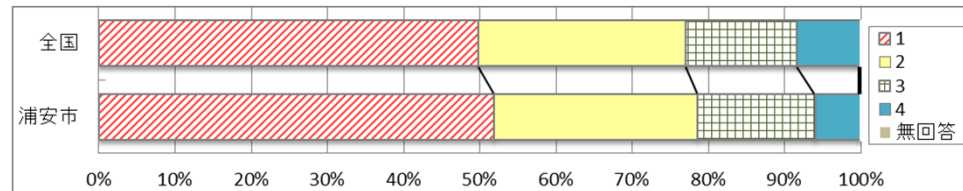
浦安市の正答率度数分布は、全国と概ね同じような分布になっています。
正答率80~89%、90~99%の児童の割合は、全国よりもわずかに高くなっています。

平成27年度 質問紙調査結果

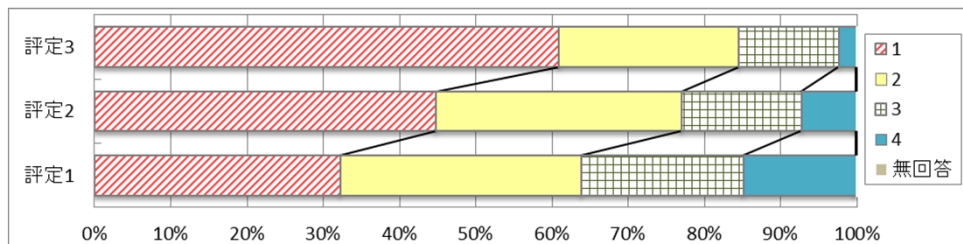
「算数の勉強は好きですか」

	1 すき	2 わりとすき	3 あまりすきで はない	4 きらい	無回答	
全国	49.8	27.2	14.5	8.2	0.2	
浦安市	51.9	26.8	15.4	5.8	0.2	
評定	3	61.0	23.6	13.1	2.3	0.1
	2	44.8	32.2	15.7	7.0	0.3
	1	32.2	31.6	21.3	14.6	0.3

★市全体と
全国との比較



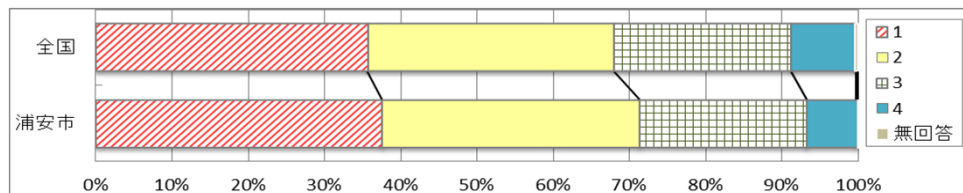
★学力調査の
評定別結果



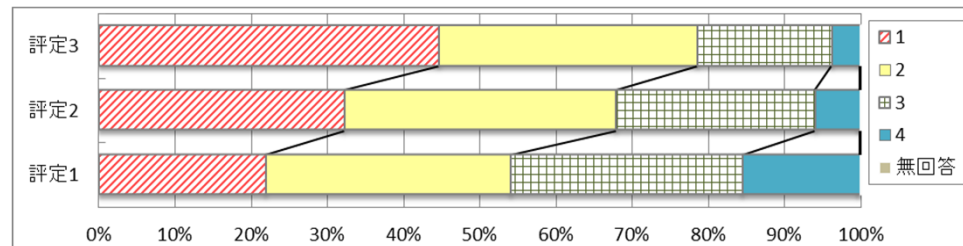
「算数の時間に、みんなでいろいろな考え方を発表しあうことは好きですか」

	1 すき	2 わりとすき	3 あまりすきで はない	4 きらい	無回答	
全国	35.7	32.3	23.2	8.4	0.4	
浦安市	37.6	33.8	21.9	6.5	0.2	
評定	3	44.7	33.9	17.6	3.7	0.1
	2	32.2	35.7	26.2	5.6	0.3
	1	21.9	32.2	30.4	15.2	0.3

★市全体と
全国との比較



★学力調査の
評定別結果



◎評定3: 学力調査結果が目標値を上回った児童

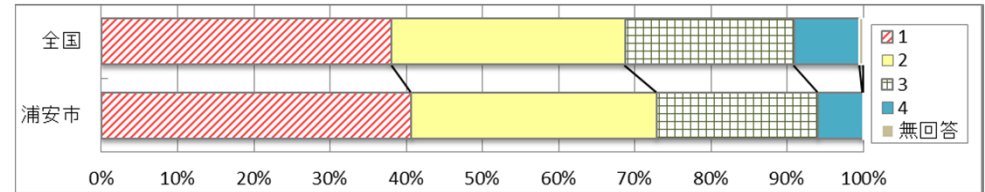
○評定2: 学力調査結果が目標値と同程度だった児童

▲評定1: 学力調査結果が目標値を下回った児童

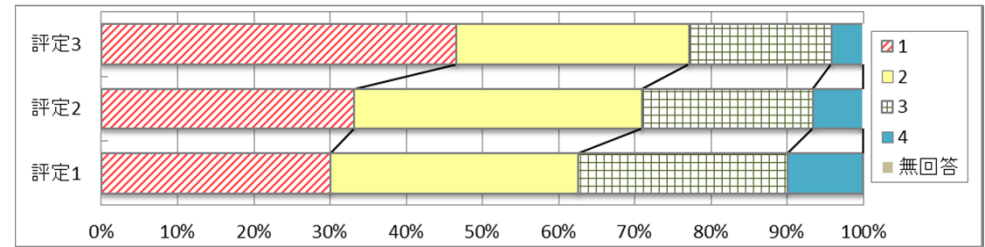
「問題がとけたとき、ちがうとき方がほかにはないか、考えてみますか」

	1 考える	2 わりと考える	3 あまり考えない	4 考えない	無回答	
全国	38.1	30.7	22.2	8.6	0.5	
浦安市	40.7	32.2	21.2	5.8	0.1	
評定	3	46.6	30.5	18.7	4.1	0.1
	2	33.2	37.8	22.4	6.3	0.3
	1	30.1	32.5	27.5	9.9	0.0

★市全体と全国との比較



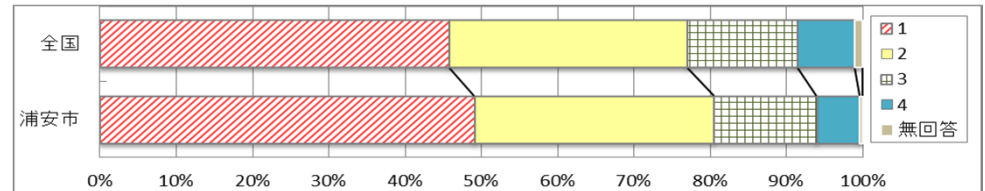
★学力調査の評定別結果



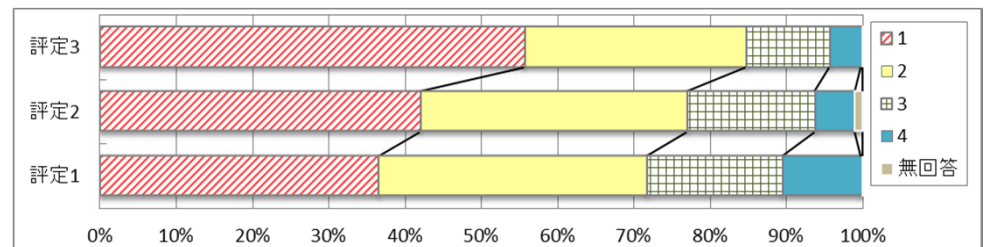
「問題ができなかったとき、なぜまちがえたのか、ちゃんと調べますか」

	1 調べる	2 ときどき調べる	3 あまり調べない	4 調べない	無回答	
全国	45.8	31.2	14.4	7.5	1.0	
浦安市	49.1	31.4	13.5	5.6	0.4	
評定	3	55.7	29.0	11.0	4.1	0.2
	2	42.0	35.0	16.8	5.2	1.0
	1	36.5	35.1	17.8	10.2	0.3

★市全体と全国との比較



★学力調査の評定別結果



◎評定3: 学力調査結果が目標値を上回った児童

○評定2: 学力調査結果が目標値と同程度だった児童

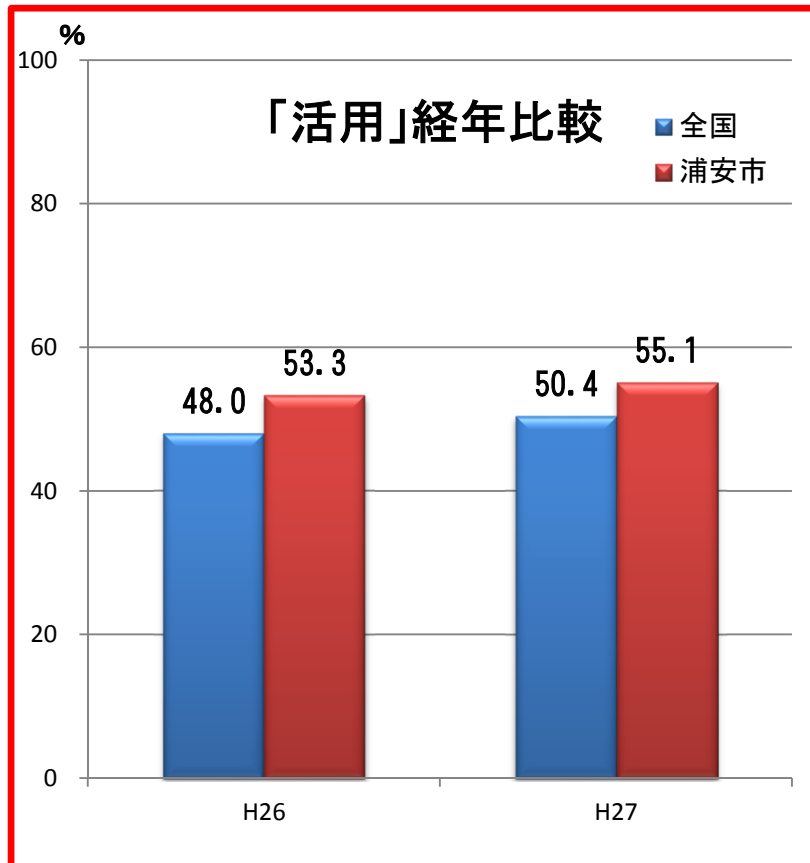
▲評定1: 学力調査結果が目標値を下回った児童

結果
について

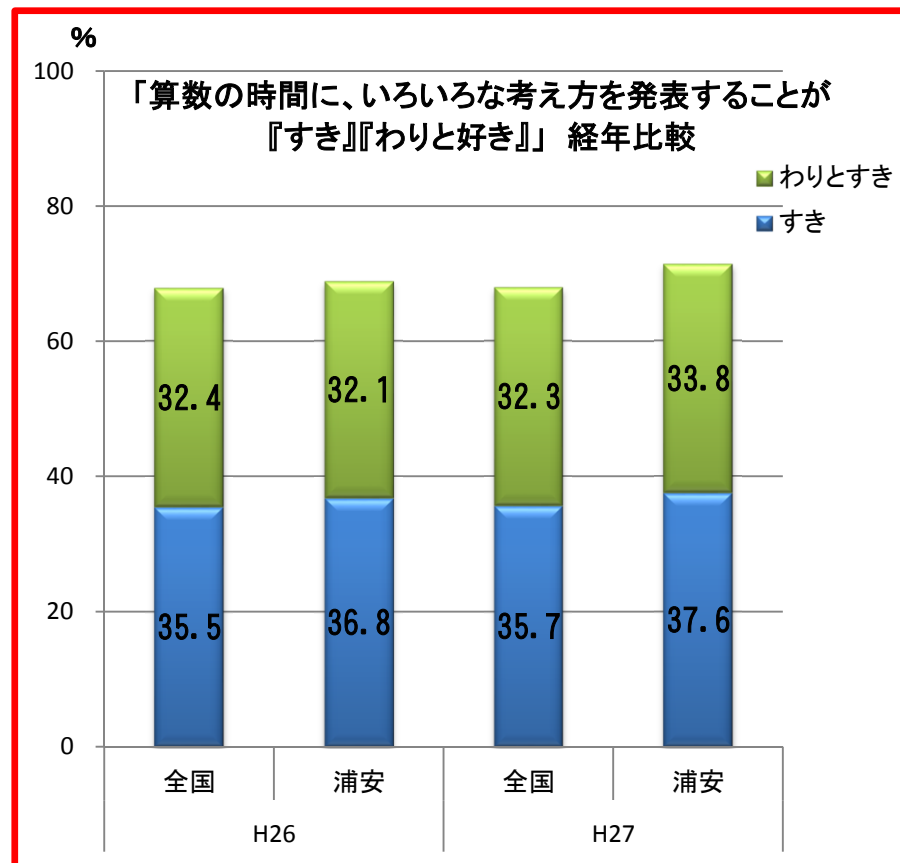
すべての項目で、肯定的な回答(「好き」+「わりと好き」)が全国を上回っています。
 評定別の結果を見てもわかるように、学力が高いほど「問題がとけたとき、ちがうとき方がほかにはないか、考えてみる」
 問題ができなかったとき、なぜまちがえたのか調べる」割合が高くなっています。

<優れている点・改善が見られた点>

【「活用」が全国より高い】



【「いろいろな考え方を発表しあうことがすき」が増加】



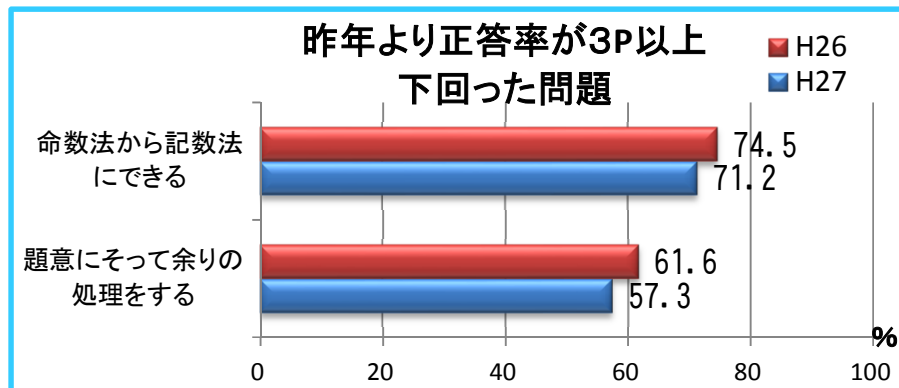
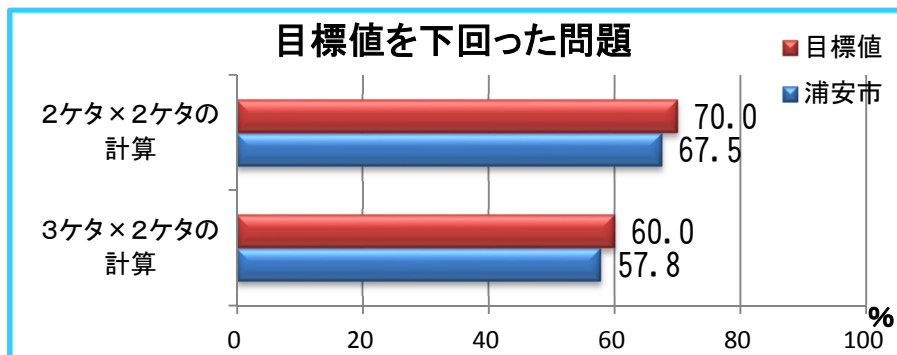
算数の「活用」問題の正答率は、全国を4.7ポイント上回っています。また、「みんなでいろいろな考え方を発表しあうことがすき・わりと好き」な児童の割合が増加しています。

<課題が見られる点>

「数と計算」領域を苦手とする児童がいる



<指導改善例>



【日常の取組】

- 場面や状況に応じて、計算の結果を適切に見積もる活動
(例) 増える、減る。
1より大きくなる、小さくなる。
およそ□になる。
□よりも小さくなる。
- 計算の結果を振り返って確かめる活動
(例) 整数の加法や減法を例に挙げ、計算の結果を確かめる方法について確認する。
- 少人数指導・学習形態の工夫
(例) 習熟場面での習熟度別学習
- 児童のつまずきの的確な把握

ほとんどの問題で目標値を上回っていますが、「2けた×2けたの計算」「3けた×2けたの計算」は、昨年に引き続き目標値を下回っています。また、「命数法から記数法にする」「題意にそって余りの処理を正しくする」問題の正答率は前年度より3ポイント以上下回りました。いずれも「数と計算」領域で、計算方法の習熟とともに、既習の内容をもとにして計算の仕方を考えたり、計算の結果を振り返って確かめる活動が大切です。

中 2 国 語

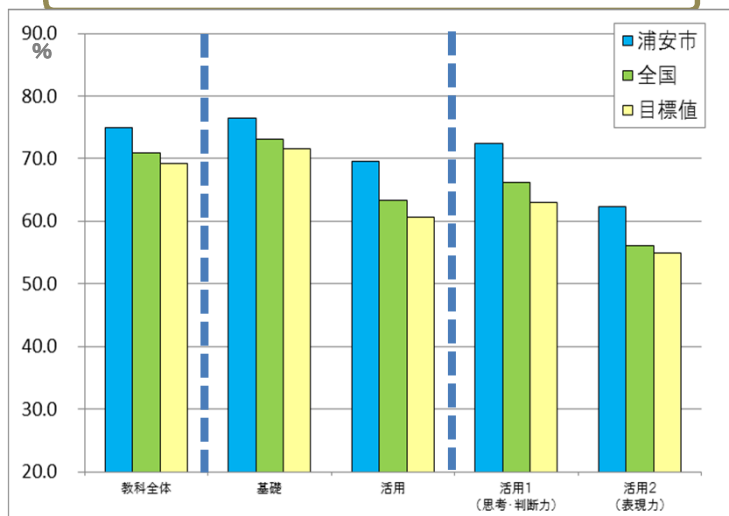


教科全体・観点別・領域別正答率 一覧表

分類	区分	平均正答率 (%)		目標値 (%)
		浦安市	全国	
教科全体		74.9	70.9	69.2
基礎		76.5	73.1	71.6
活用	思考・判断力	69.5	63.3	60.7
	表現力	72.4	66.1	63.0
観点	話す・聞く能力	62.3	56.2	55.0
	書く能力	85.2	80.6	77.5
	読む能力	76.0	72.4	70.8
	言語についての知識・理解・技能	72.8	66.7	64.1
領域	話すこと・聞くこと	71.7	69.5	69.2
	書くこと	85.2	80.6	77.5
	読むこと	78.8	75.7	74.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	72.8	66.7	64.1
		71.9	69.6	69.2

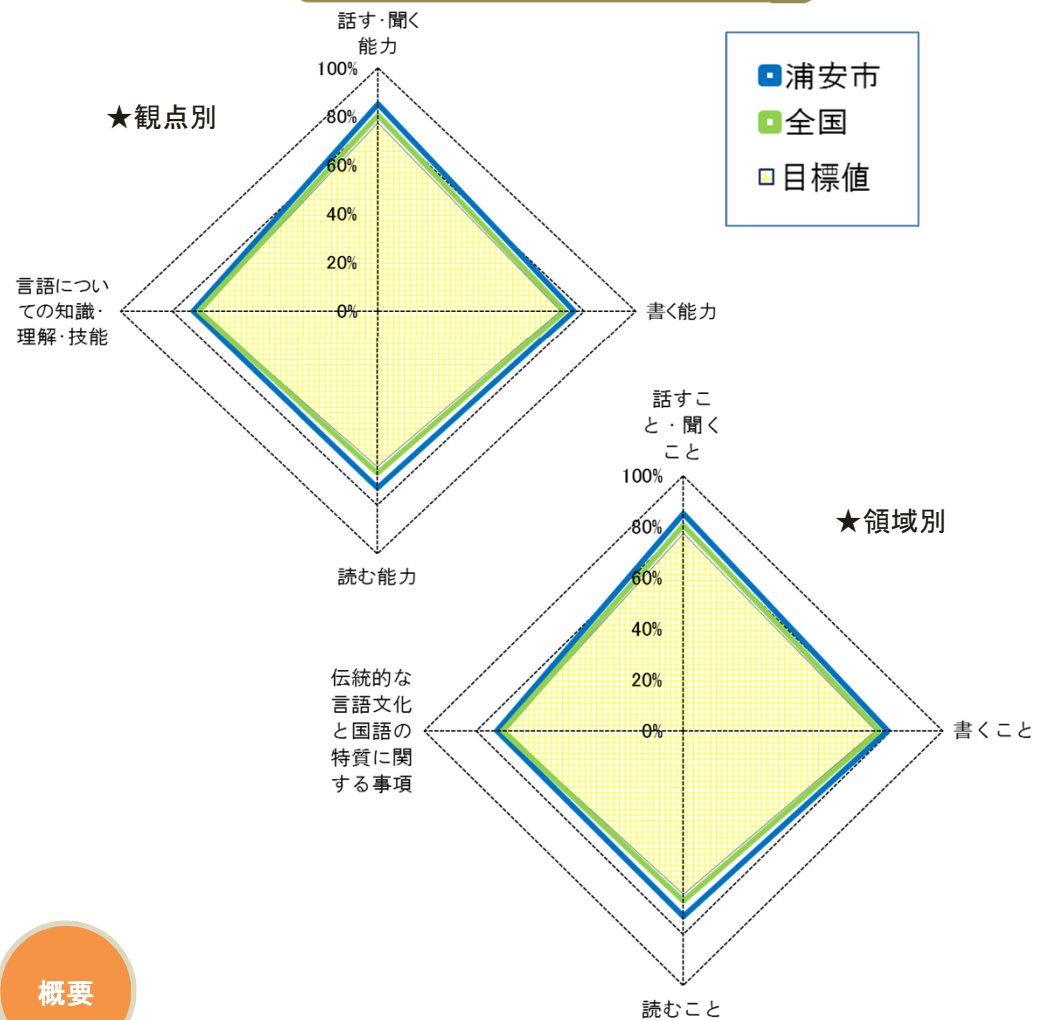
* 目標値とは、学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、小問ごとに正答できることを期待した児童生徒の割合を示したもので、「出題形式」や「解答形式」を基に初期設定した数値を、プレテスト等の検証を通じて適宜補正したものです。

教科全体 基礎・活用 正答率グラフ



「教科全体」は「基礎」と「活用」の合算値に、「活用」は「活用1」と「活用2」の合算値になっています。

観点別・領域別 レーダーチャート



概要

教科全体の正答率は、全国値を4ポイント上回っています。すべての領域、観点で全国値、目標値を上回っています。

平成26年度と平成27年度 平均正答率一覧表

		平均正答率(%)					
		H26年度			H27年度		
		浦安市	全国	目標値	浦安市	全国	目標値
教科全体		71.4	71.7	68.0	74.9	70.9	69.2
観点	話す・聞く能力	83.0	81.2	77.5	85.2	80.6	77.5
	書く能力	72.9	75.0	70.8	76.0	72.4	70.8
	読む能力	72.4	68.6	64.1	72.8	66.7	64.1
	言語についての知識・理解・技能	64.8	68.3	66.0	71.7	69.5	69.2
領域	話すこと・聞くこと	83.0	81.2	77.5	85.2	80.6	77.5
	書くこと	75.6	78.9	74.0	78.8	75.7	74.0
	読むこと	72.4	68.6	64.1	72.8	66.7	64.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	64.9	68.3	65.8	71.9	69.6	69.2

* 目標値とは、学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、小問ごとに正答できることを期待した児童生徒の割合を示したもので、「出題形式」や「解答形式」を基に初期設定した数値を、プレテスト等の検証を通じて適宜補正したものです。

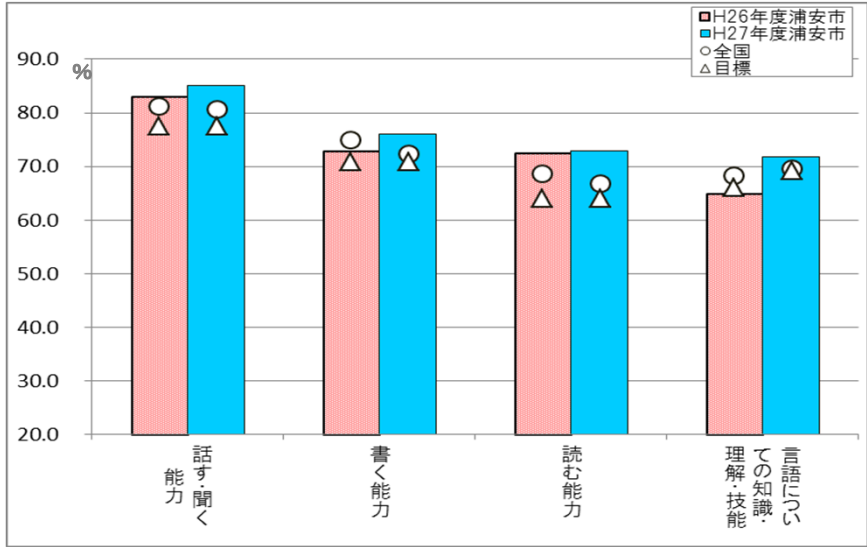
* 領域「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」のH24年度の欄にはH24年度「言語事項」の結果数値を入力しています。

観点別にみると、H26年度と比較して、すべての観点において上回っており、特に「言語についての知識・理解・技能」については6.9ポイント上回っています。

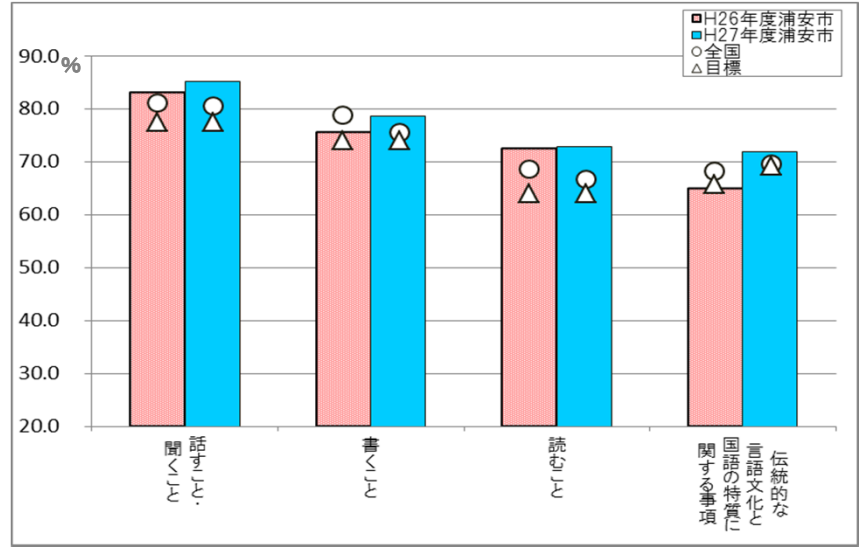
領域別も同様で、H26年度と比較して、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、7ポイント上回っています。

平成26年度と平成27年度 経年比較グラフ

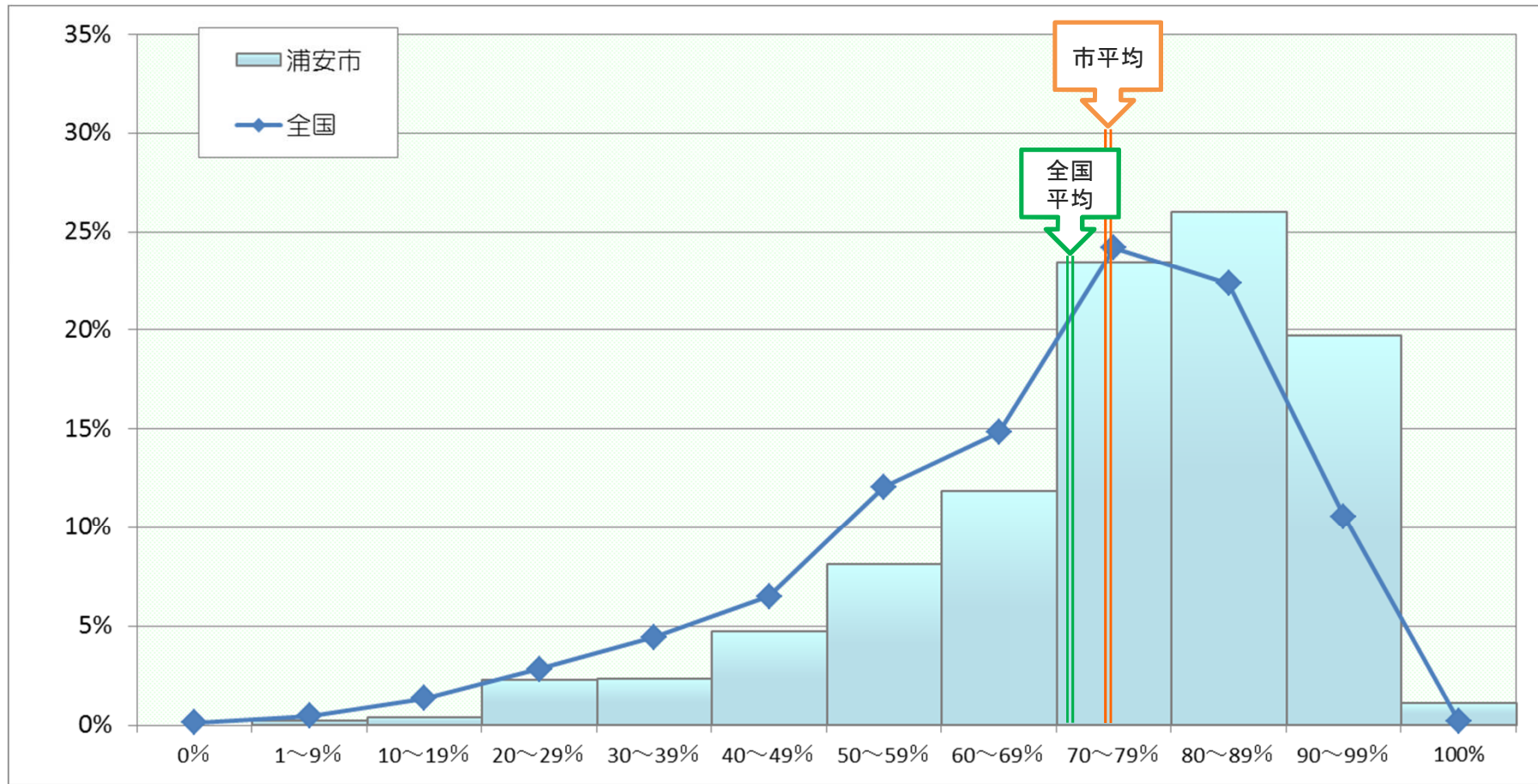
★観点別



★領域別



平成27年度正答率度数分布



度数分布について

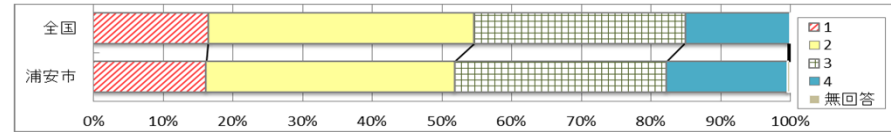
浦安市の度数分布は、全国の分布と同じような形状ですが、60~69%、70~79%の層が全国より低くなっており、80~89%、90~99%は全国よりも層が厚いことがわかります。

平成27年度 質問紙調査結果

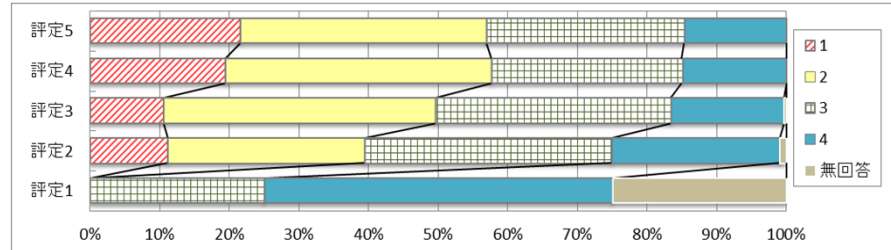
「国語の勉強は好きですか」

	1 好きだ	2 どちらかとい えば好きだ	3 どちらかといえ ば好きではない	4 好きではない	無回答	
全国	16.5	38.1	30.2	14.8	0.3	
浦安市	16.2	35.7	30.4	17.4	0.4	
評定	5	21.6	35.3	28.4	14.7	0.0
	4	19.4	38.2	27.4	15.0	0.0
	3	10.6	39.0	33.9	16.1	0.5
	2	11.1	28.3	35.6	24.1	1.0
	1	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0

★市全体と
全国との比較



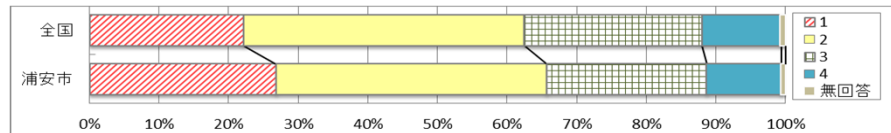
★学力調査の
評定別結果



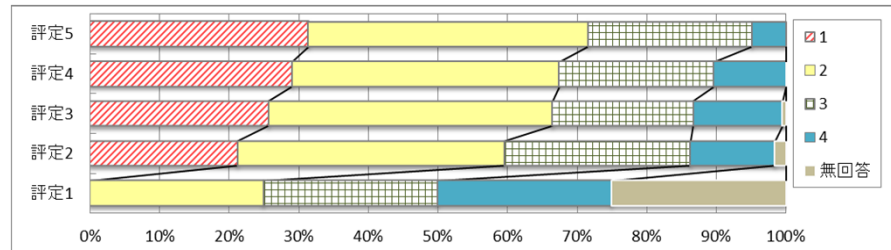
「日常生活の中で、自分の思いや考えを積極的に話していますか」

	1 そうしている	2 どちらかとい えばそうして	3 どちらかといえ ばそうしてい	4 そうしていな い	無回答	
全国	22.1	40.5	25.5	11.3	0.7	
浦安市	26.8	38.9	23.0	10.7	0.6	
評定	5	31.4	40.2	23.5	4.9	0.0
	4	29.1	38.3	22.2	10.3	0.1
	3	25.7	40.8	20.2	12.8	0.5
	2	21.3	38.4	26.7	12.1	1.6
	1	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0

★市全体と
全国との比較



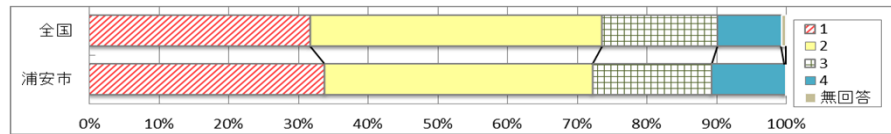
★学力調査の
評定別結果



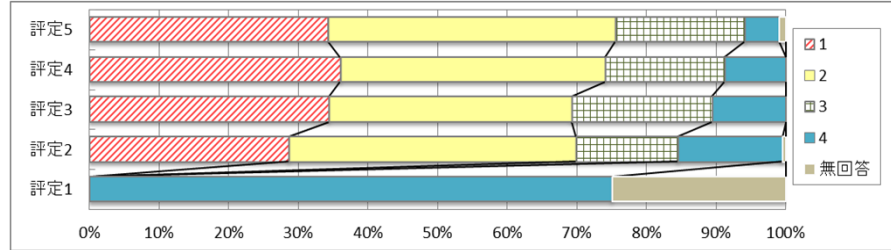
「国語の勉強をしたことで、生活の中で役に立つと感じることはありますか」

	1 ある	2 どちらかとい えばある	3 どちらかといえ ばない	4 ない	無回答	
全国	31.7	41.9	16.5	9.2	0.7	
浦安市	33.8	38.4	17.1	10.4	0.3	
評定	5	34.3	41.2	18.6	4.9	1.0
	4	36.0	38.0	17.2	8.8	0.0
	3	34.4	34.9	20.2	10.6	0.0
	2	28.6	41.3	14.6	14.9	0.6
	1	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0

★市全体と
全国との比較



★学力調査の
評定別結果



◎評定5・4: 学力調査結果が目標値を上回った生徒

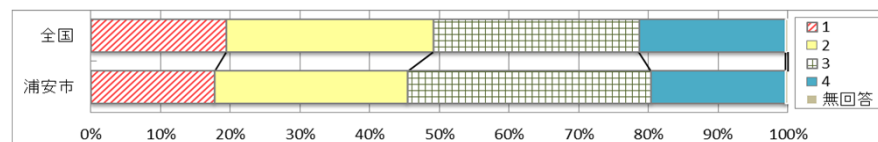
○評定3: 学力調査結果が目標値と同程度だった生徒

▲評定2・1: 学力調査結果が目標値を下回った生徒

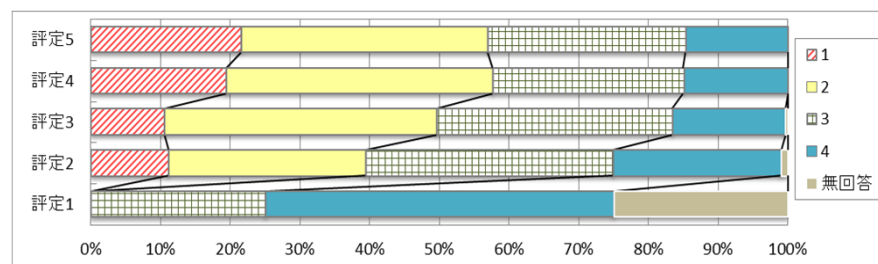
「月に何冊ぐらい本(マンガ・雑誌を除く)を読みますか」

	1 4冊以上	2 2~3冊	3 1冊程度	4 ほとんど読まない	無回答	
全国	19.4	29.7	29.5	21.0	0.4	
浦安市	17.7	27.7	35.0	19.3	0.4	
評定	5	26.5	37.3	28.4	7.8	0.0
	4	19.3	30.6	35.8	14.1	0.1
	3	16.1	23.9	36.2	23.9	0.0
	2	12.4	20.6	34.9	31.1	1.0
	1	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0

★市全体と全国との比較



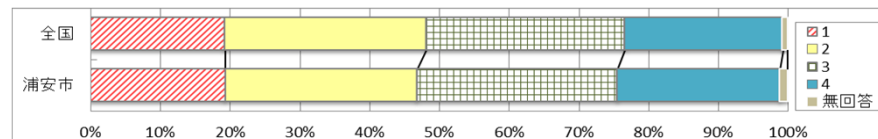
★学力調査の評定別結果



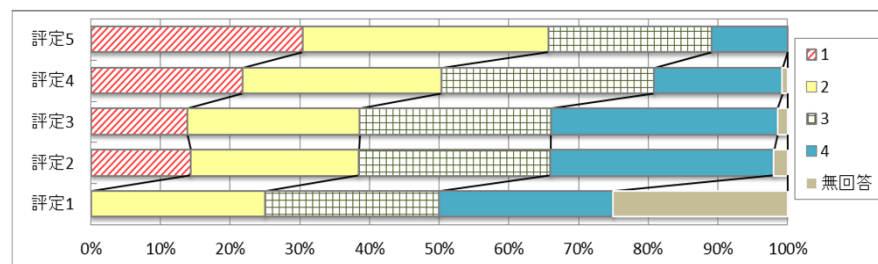
「わからない言葉があるときは国語辞典(電子辞書を含みます)を使いますか」

	1 よく使う	2 どちらかといえばよく使う	3 どちらかといえば使わない	4 使わない	無回答	
全国	19.2	28.9	28.5	22.6	0.7	
浦安市	19.3	27.5	28.8	23.3	1.1	
評定	5	30.4	35.3	23.5	10.8	0.0
	4	21.8	28.6	30.5	18.5	0.7
	3	13.8	24.8	27.5	32.6	1.4
	2	14.3	24.1	27.6	32.1	1.9
	1	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0

★市全体と全国との比較



★学力調査の評定別結果



◎評定5・4: 学力調査結果が目標値を上回った生徒

○評定3: 学力調査結果が目標値と同程度だった生徒

▲評定2・1: 学力調査結果が目標値を下回った生徒

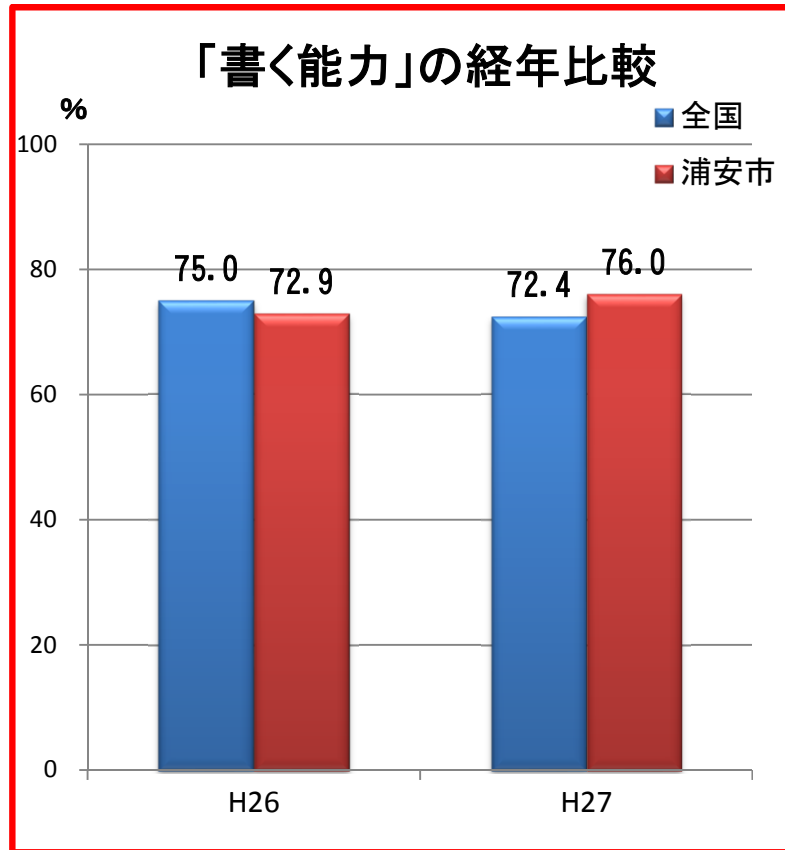
結果について

「国語の勉強は好きか」「月に何冊ぐらい本を読むか」については、評定1の生徒については学力との相関が如実に表れています。国語を好きになるような授業展開や、読書習慣を更に身に付けさせることが重要と考えられます。

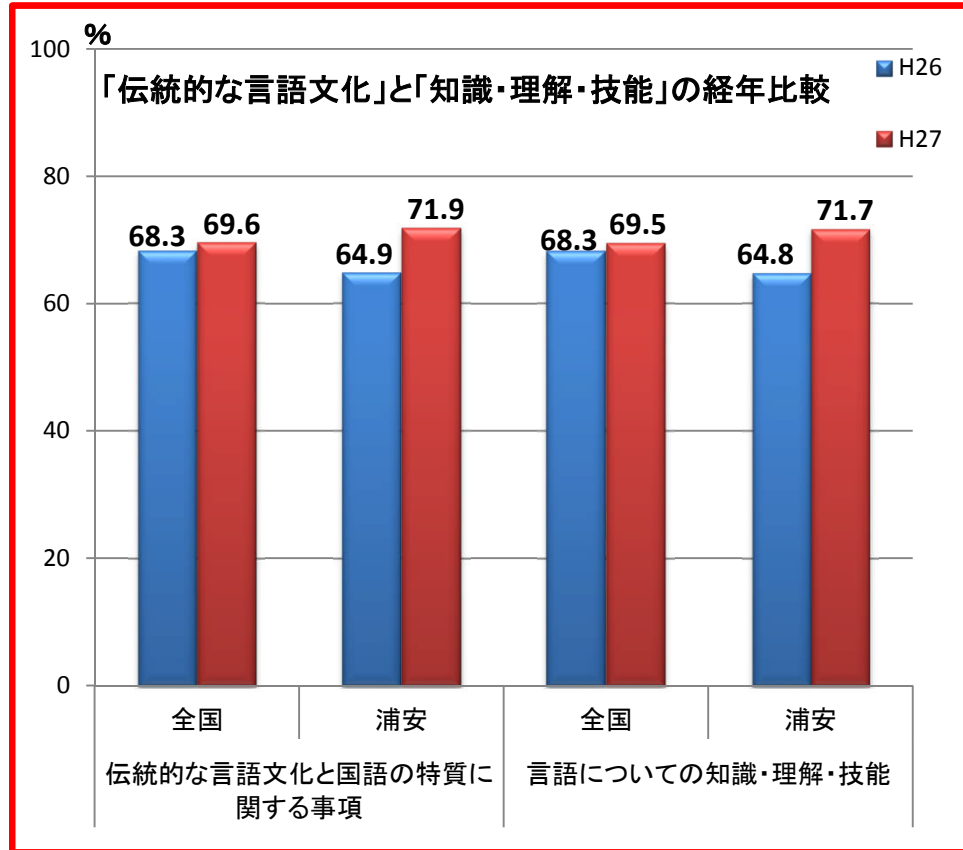


<優れている点・改善が見られた点>

【「書く能力」が改善】



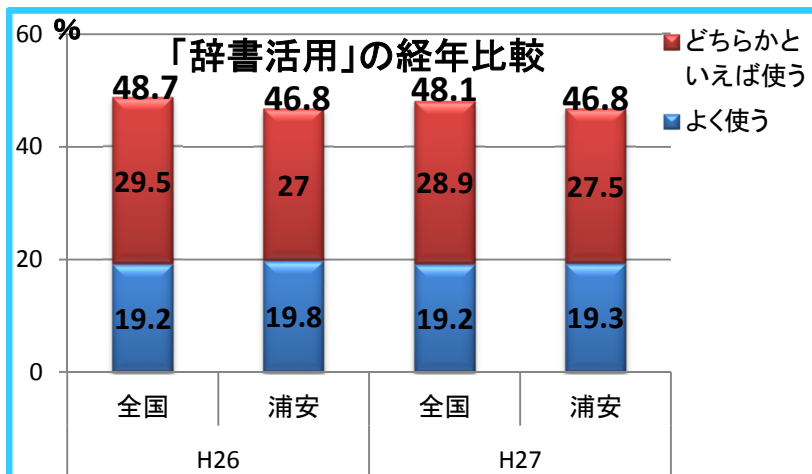
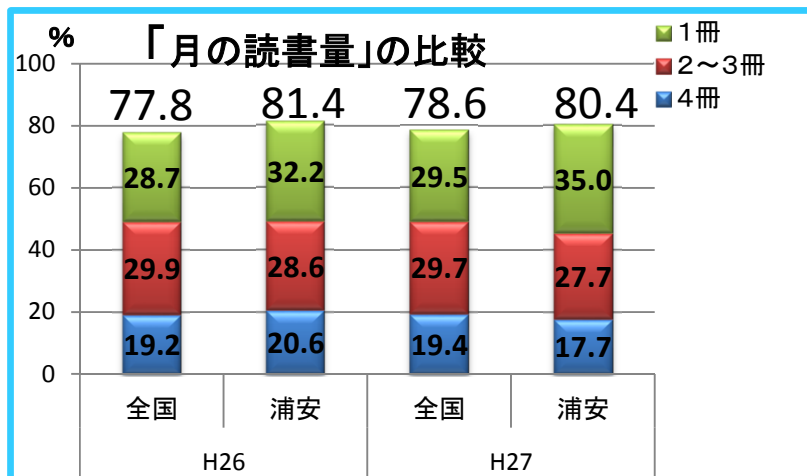
【「言語に関する知識・理解」が改善】



「書く能力」は、H26年度と比較すると3.1ポイント上回りました。また、H27年度は全国を3.6ポイント上回りました。
「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」と「言語についての知識・理解・技能」はH26年度全国を下回っていましたが、H27年度はどちらも全国を上回っています。

< 課題が見られる点 >

「月の読書量」と「辞書の活用」



H27年度の「月の読書量」は、全国を上回っているもののH26年度より1ポイント減少しました。また、浦安市の「辞書の活用」については、H26年度とH27年度で大きな変化はありませんが、昨年度に続き全国を下回っています。

< 指導改善例 >

【日常の取組】

- 辞書の活用
 - ・教科書教材の中で使われている語句を国語辞典で引き、本文の読み取りに役立てる

- 図書資料の積極的な活用
 - ・調べ学習での図書資料の活用
 - ・学習を通して自分の読書生活を振り返り、本の選び方や読み方について考える

- 図書室を活用した授業の実践
 - ・学校司書との連携
 - 例) 確かな学びの早道「読書」実践記録集(千葉県教育委員会)の活用

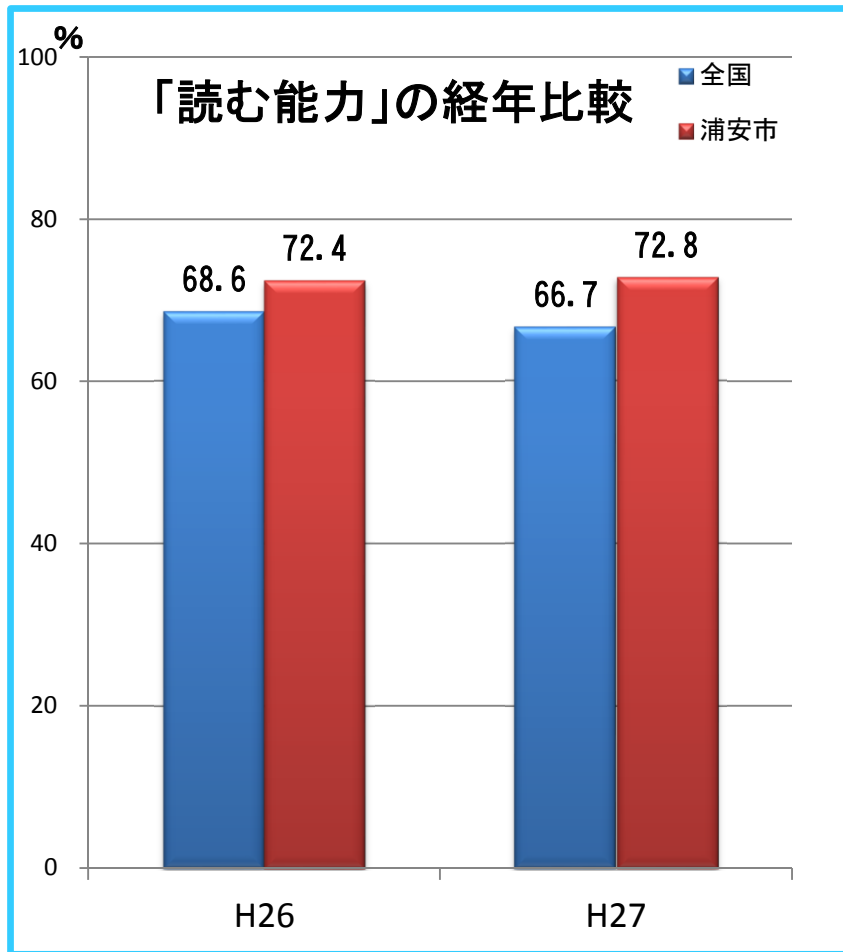
【学年や学校全体での取組】

- 朝読書のすすめ
- 読書週間やこども読書の日になんだ学校独自の取組
 - 例) 読書マラソン 集会等で本の紹介



<課題が見られる点>

「読む能力」ほぼ横ばい



<指導改善例>

【日常の取組】

- 生徒の実態に応じた言語活動の設定
 - ・具体的な言語活動を通して、内容を理解させ、表現の仕方や文章の特徴を読み取る力などをつける。
 - 例) 感想交流 朗読 批評文を書く 本の紹介
- 辞書活用の日常化
 - ・語句の意味を調べるだけでなく、語句の効果的な使い方を知る
 - ・調べた語句を文章に生かす
- 授業の実践例として
 - ・「全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例」(国立教育政策研究所教育課程センター)の活用

【学年や学校全体での取組】

- 国語科年間指導計画の見直し
 - ・「読むこと」の年間指導計画表の作成
 - どの単元で重点的に指導し評価するのか明確にする

「読む能力」がH26年度・H27年度ともに全国を上回っていますが、浦安市で比較するとH27年度は0.4ポイントの伸びにとどまっています。他の観点や領域の項目と比較すると伸び悩んでいる様子が見えます。「読書の習慣」や「辞書の活用」を見直すことで、語彙を増やすなどの取組が必要です。

中 2 数 学

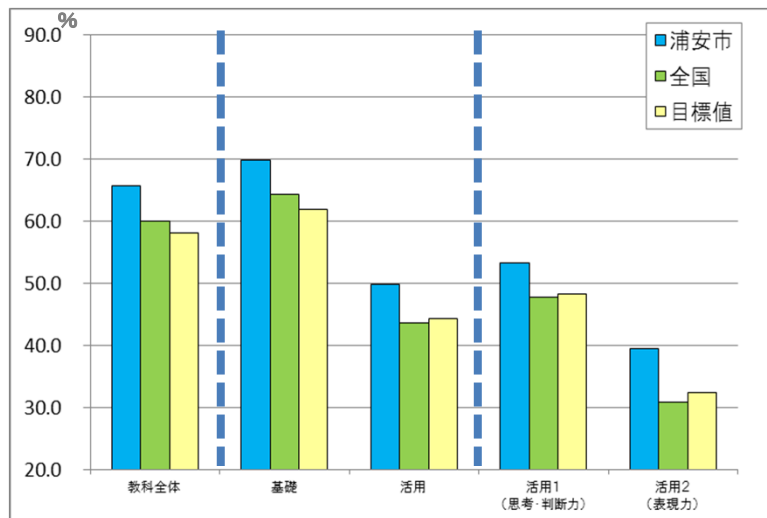


教科全体・観点別・領域別正答率 一覧表

分類	区分	平均正答率 (%)		目標値 (%)
		浦安市	全国	
	教科全体	65.6	60.0	58.2
基礎		69.8	64.3	61.8
活用	思考・判断力	49.8	43.6	44.4
	表現力	53.2	47.8	48.3
観点	数学的な見方や考え方	52.0	45.6	45.8
	数学的な技能	71.2	65.0	62.2
	数量や図形などについての知識・理解	60.9	57.2	55.7
領域	数と式	74.3	66.7	63.2
	図形	66.6	60.6	58.8
	関数	63.8	58.5	59.2
	資料の活用	45.1	44.1	44.3

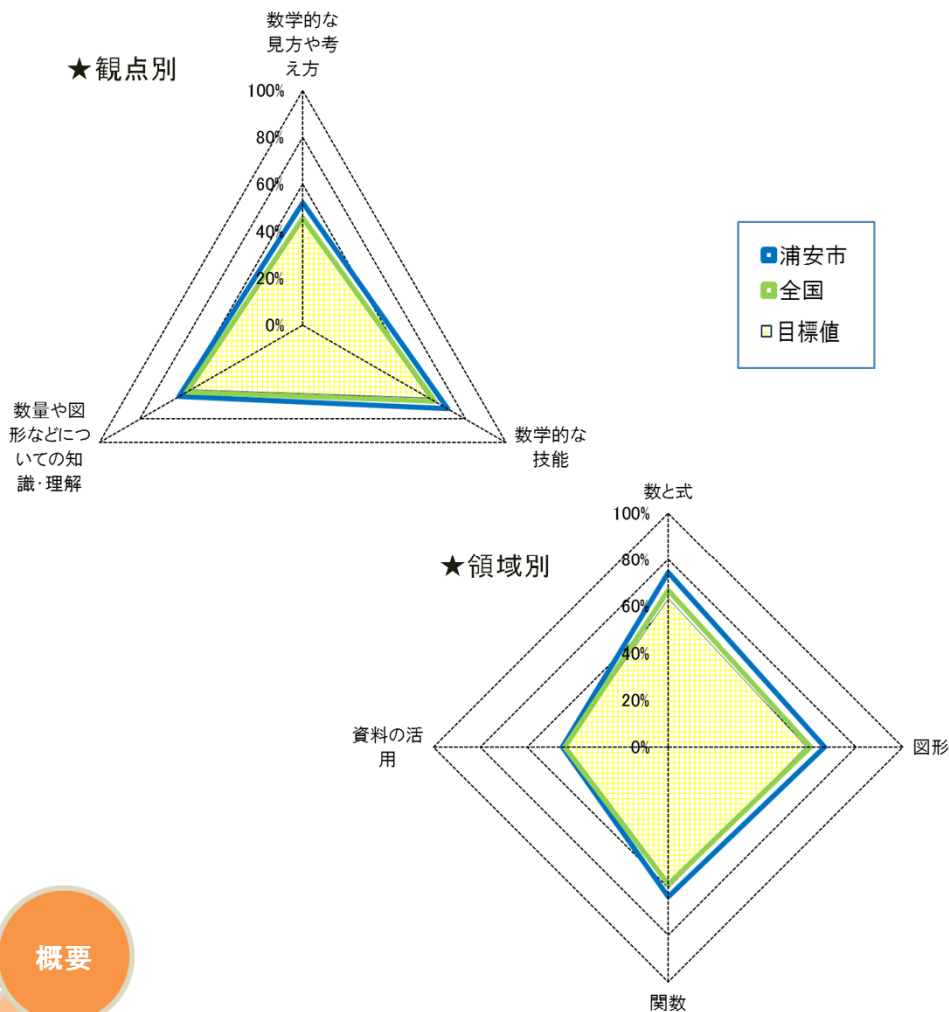
* 目標値とは、学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、小問ごとに正答できることを期待した児童生徒の割合を示したもので、「出題形式」や「解答形式」を基に初期設定した数値を、プレテスト等の検証を通じて適宜補正したものです。

教科全体 基礎・活用 正答率グラフ



「教科全体」は「基礎」と「活用」の合算値に、「活用」は「活用1」と「活用2」の合算値になっています。

観点別・領域別 レーダーチャート



概要

教科全体の正答率は、全国値を5.6ポイント上回っています。ただし、領域「資料の活用」は、全国値、目標値とほぼ同程度で、昨年に続き指導を強化していく必要があります。

参考

平成26年度と平成27年度 平均正答率一覧表

		平均正答率(%)					
		H26年度			H27年度		
		浦安市	全国	目標値	浦安市	全国	目標値
教科全体		63.0	59.5	58.2	65.6	60.0	58.2
観点	数学的な見方や考え方	47.7	45.6	45.8	52.0	45.6	45.8
	数学的な技能	69.6	64.3	62.2	71.2	65.0	62.2
	数量や図形などについての知識・理解	57.9	56.6	55.7	60.9	57.2	55.7
領域	数と式	72.8	66.2	63.2	74.3	66.7	63.2
	図形	62.6	61.0	58.8	66.6	60.6	58.8
	関数	60.0	58.6	59.2	63.8	58.5	59.2
	資料の活用	42.4	42.1	44.3	45.1	44.1	44.3

* 目標値とは、学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、小問ごとに正答できることを期待した児童生徒の割合を示したもので、「出題形式」や「解答形式」を基に初期設定した数値を、プレテスト等の検証を通じて適宜補正したものです。

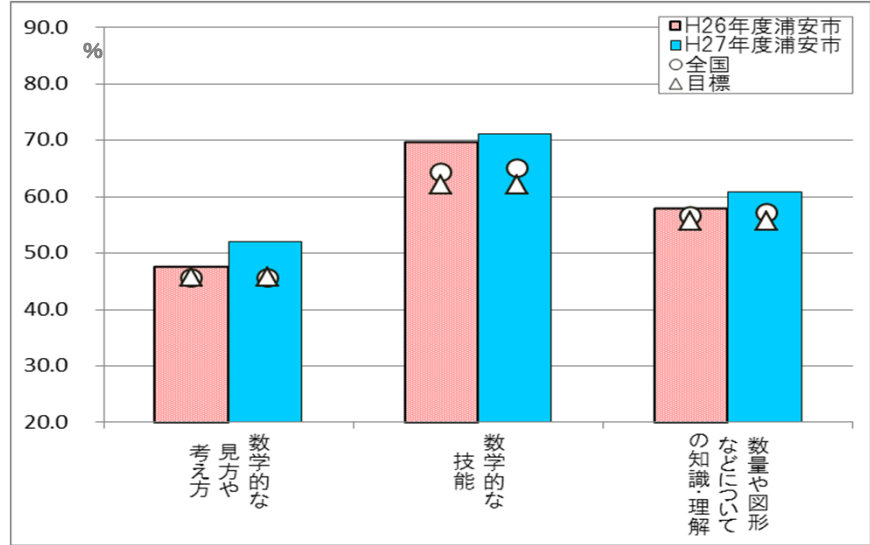
* 学習指導要領の改訂に伴い、H24年度とH25年度とは観点や領域区分が異なります。観点「数学的な技能」のH24年度の欄には、H24年度「数学的な表現・処理」の結果数値を、領域「関数」のH24年度の欄にはH24年度「数量関係」の結果数値をそれぞれ入力しています。

注釈

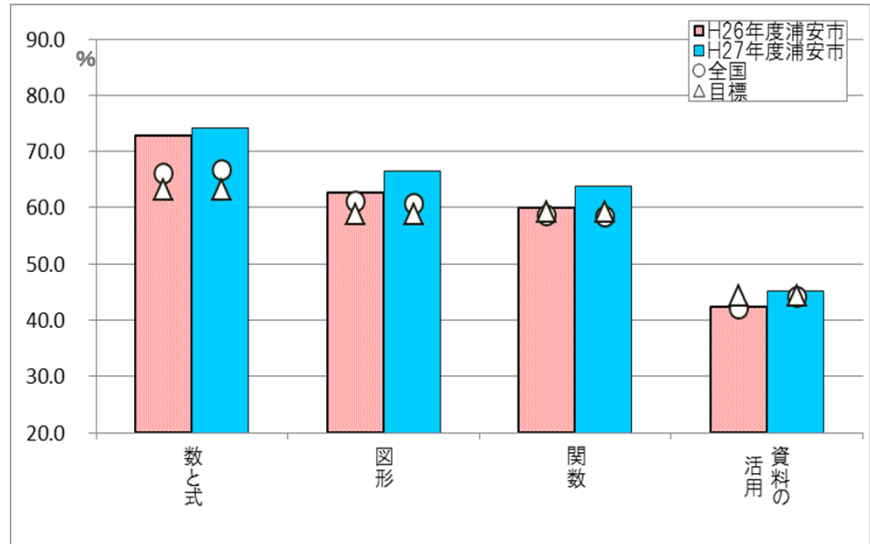
観点別にみると、H26年度と比較して、「数学的な見方や考え方」をはじめ、すべての観点において上回っています。
領域別も同様に、全ての観点において上回っています。

平成26年度と平成27年度 経年比較グラフ

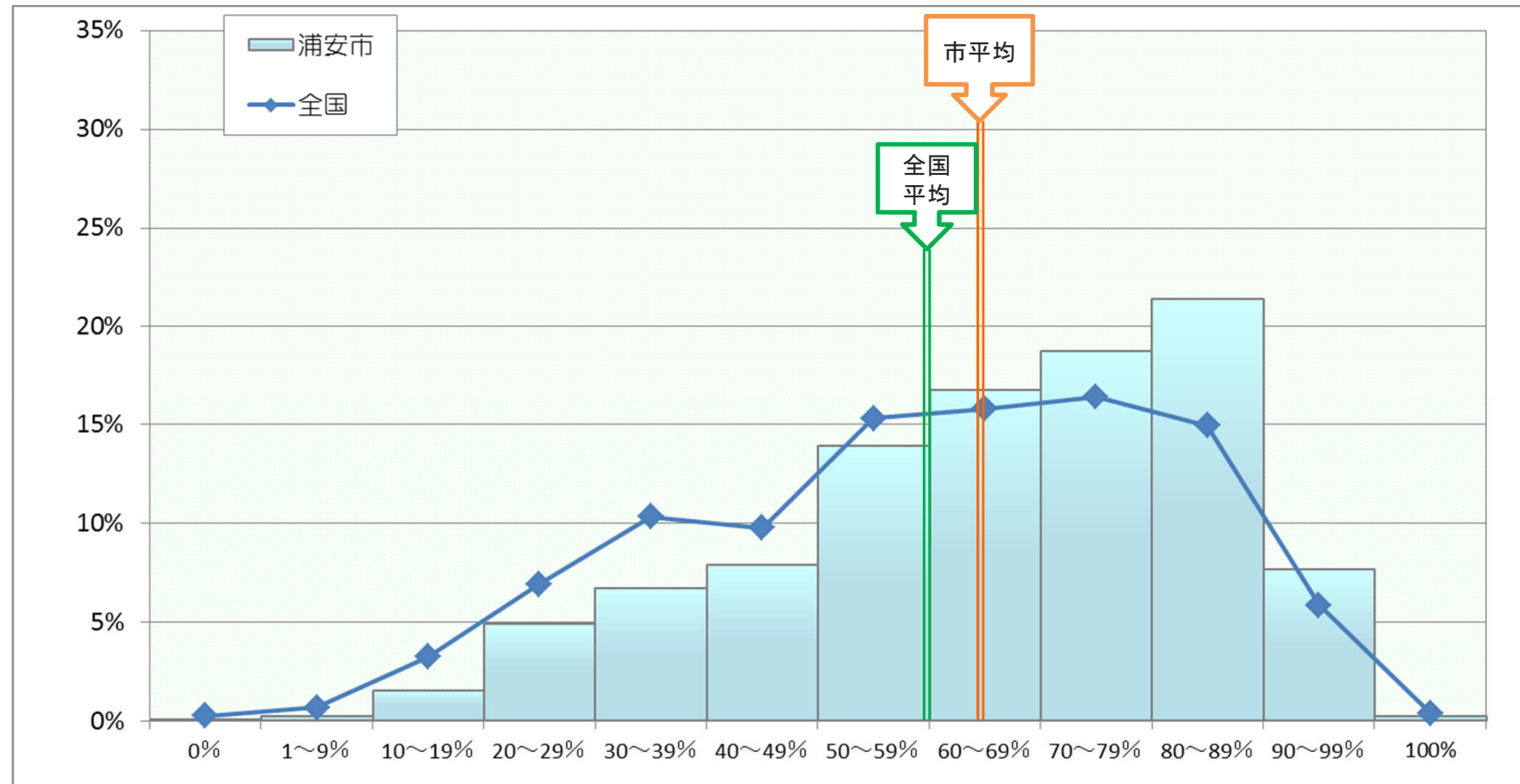
★観点別



★領域別



平成27年度正答率度数分布



度数分布について

全国の分布ならびに昨年度の浦安市の傾向と同様に、分布が幅広く散らばっており、広範囲分布型となっています。
正答率80~89%の層が前年度より厚くなりました。

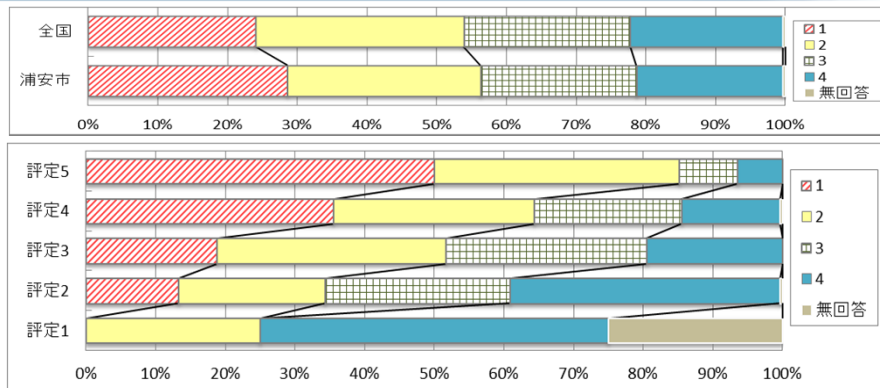
平成27年度 質問紙調査結果

「数学の勉強は好きですか」

	1 好きだ	2 どちらかといえば好きだ	3 どちらかといえば好きではない	4 好きではない	無回答	
全国	24.1	29.8	23.9	21.9	0.3	
浦安市	28.6	27.7	22.4	21.0	0.3	
評定	5	50.0	35.2	8.3	6.5	0.0
	4	35.5	28.9	21.1	14.2	0.3
	3	18.8	32.9	28.9	19.5	0.0
	2	13.3	21.0	26.6	38.8	0.3
	1	0.0	25.0	0.0	50.0	25.0

★市全体と全国との比較

★学力調査の評定別結果

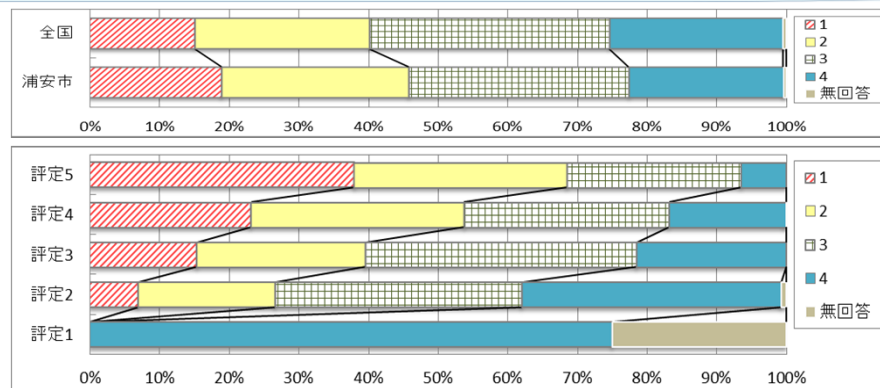


「数学の時間に、いろいろな考え方を発表し合うことは好きですか」

	1 好きだ	2 どちらかといえば好きだ	3 どちらかといえば好きではない	4 好きではない	無回答	
全国	15.1	25.1	34.4	24.9	0.5	
浦安市	18.9	26.9	31.6	22.2	0.4	
評定	5	38.0	30.6	25.0	6.5	0.0
	4	23.1	30.7	29.3	16.6	0.3
	3	15.4	24.2	38.9	21.5	0.0
	2	6.9	19.7	35.4	37.2	0.8
	1	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0

★市全体と全国との比較

★学力調査の評定別結果

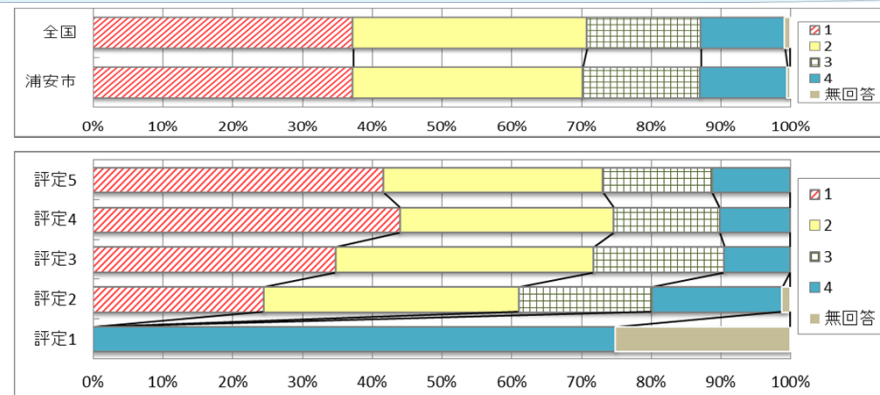


「数学の勉強をしたことで、生活の中で役に立つと感じることはありますか」

	1 ある	2 どちらかといえばある	3 どちらかといえばない	4 ない	無回答	
全国	37.3	33.6	16.3	12.0	0.8	
浦安市	37.3	33.0	16.8	12.5	0.4	
評定	5	41.7	31.5	15.7	11.1	0.0
	4	44.1	30.7	15.3	10.0	0.0
	3	34.9	36.9	18.8	9.4	0.0
	2	24.5	36.7	19.1	18.6	1.1
	1	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0

★市全体と全国との比較

★学力調査の評定別結果



◎評定5・4: 学力調査結果が目標値を上回った生徒

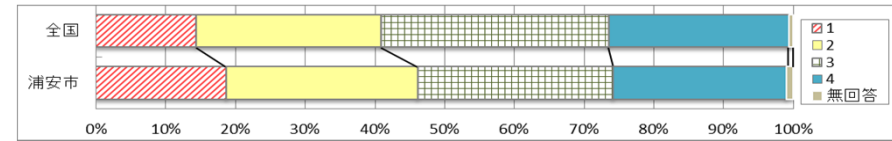
○評定3: 学力調査結果が目標値と同程度だった生徒

▲評定2・1: 学力調査結果が目標値を下回った生徒

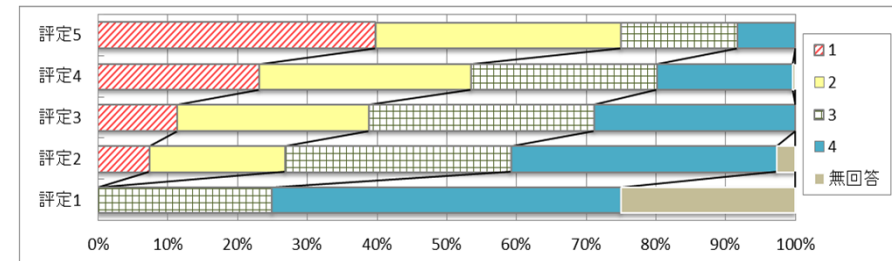
「問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか」

	1 考えようとしている	2 どちらかといえば 考えようとしている	3 どちらかといえば 考えようしていない	4 考えようとして いない	無回答	
全国	14.4	26.5	32.6	25.8	0.7	
浦安市	18.7	27.4	28.0	24.8	1.0	
評定	5	39.8	35.2	16.7	8.3	0.0
	4	23.1	30.4	26.6	19.5	0.4
	3	11.4	27.5	32.2	28.9	0.0
	2	7.4	19.4	32.4	38.0	2.7
	1	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0

★市全体と
全国との比較



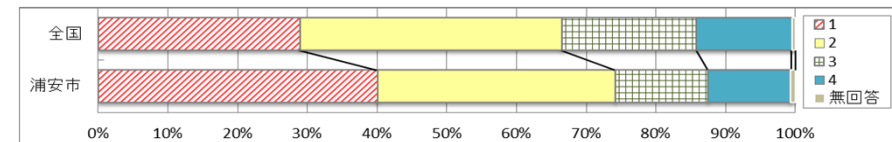
★学力調査の
評定別結果



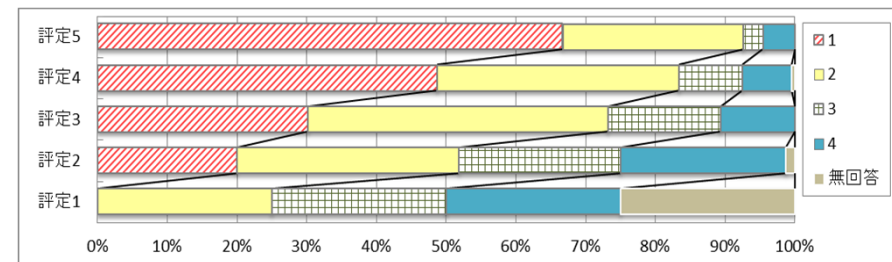
「問題が解けなかったとき、なぜ解けなかったかをふり返って考えようとしていますか」

	1 考えようとしている	2 どちらかといえば 考えようとしている	3 どちらかといえば 考えようしていない	4 考えようとして いない	無回答	
全国	28.9	37.5	19.3	13.7	0.5	
浦安市	40.0	34.1	13.3	11.8	0.7	
評定	5	66.7	25.9	2.8	4.6	0.0
	4	48.7	34.7	9.1	7.0	0.5
	3	30.2	43.0	16.1	10.7	0.0
	2	19.9	31.9	23.1	23.7	1.3
	1	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0

★市全体と
全国との比較



★学力調査の
評定別結果



◎評定5・4: 学力調査結果が目標値を上回った生徒

○評定3: 学力調査結果が目標値と同程度だった生徒

▲評定2・1: 学力調査結果が目標値を下回った生徒

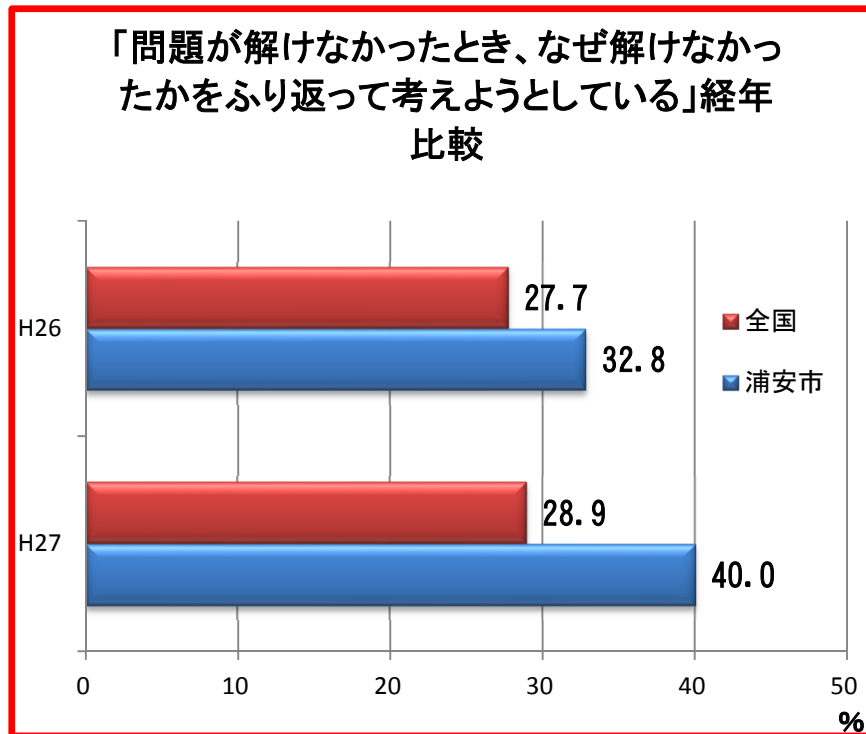
結果
について

多くの項目で、肯定的な回答(「とても」「どちらかといえば」)が、全国を上回っています。特に「問題が解けなかったとき、なぜ解けなかったかをふり返って考えようとしている」と答えた生徒の割合は、10ポイント以上、上回っています。

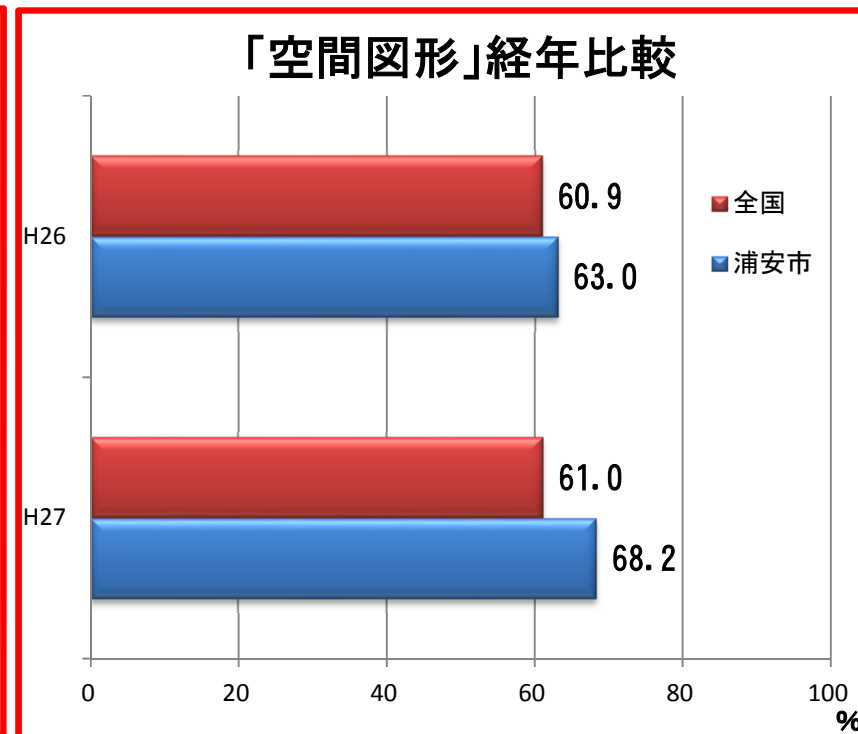


<優れている点・改善が見られた点>

【「問題が解けなかったとき、なぜ解けなかったのかを振り返る」の増加】



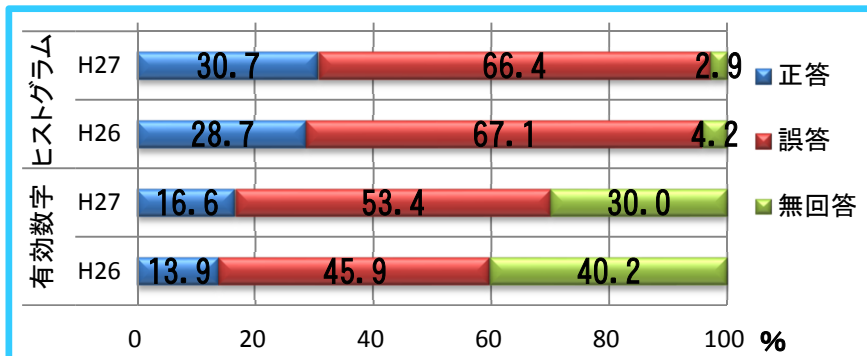
【「空間図形」の正答率が上昇】



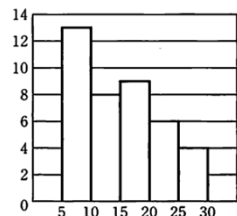
「問題が解けなかったとき、なぜ解けなかったのかを振り返って考えようとする」+「どちらかといえばする」割合が、昨年度に比べ、7.3ポイント増加しています。また、昨年度の課題だった「空間図形」の正答率が、大きく昨年度を上回りました。指導改善の成果といえます。

<課題が見られる点>

「資料の活用」



19 右の図は、ある資料をヒストグラムに表したものです。この資料の平均値は、ちょうど15でした。この資料について、数学の授業で話し合いをしたところ、次のような意見が出ました。正しいものはどれですか。答えは**1～4**から1つ選びなさい。ⓐ



- 1** 中央値は、真ん中の値であるから、5つある階級のうちの真ん中の階級である**27.8%** 15以上20未満の階級に入る。
- 2** 平均値は、資料の中央の値に近い値をとる代表値だから、平均値と中央値は同じ階級に入る。**17.7%**
- 3** 最頻値は、度数のもっとも多い階級の度数なので、13である。**20.8%**
- 4** 最頻値は、ヒストグラムの長方形の面積がいちばん大きい階級の階級値になる。**30.7%**

21 ある距離の測定値1200mを、有効数字が3けた(1, 2, 0)であるとして、(整数部分が1けたの数) × (10の累乗)の形で表しなさい。**16.6%**

<指導改善例>

【日常の取組】

- 実験や操作活動を通して、実感をともなう授業の実践
例) 多数回の試行を経験して、ある事柄の起こる場合が一定の値に近づくことを確かめる活動
- 正確な(数学の)用語の理解と、用語を用いて説明する活動
- 「ちばのやる気」学習ガイド(千葉県教育委員会)の活用
- 「授業アイデア例」(国立教育政策研究所)の活用
例) H27「落とし物を減らす対策を考えよう」

【他教科との関連】

- 国語科・社会科・理科など
 - ・論説や報道の情報を比較して読む活動
 - ・資料を適切に収集・選択・吟味して、資料に基づいて考察する活動
 - ・観察や実験結果を比較したり、関連付けたりして結論を出す活動

ヒストグラムや有効数字などの「資料の活用」は、昨年度と比較して、正答率は微増しているものの、他の領域と比較すると低い状況です。引き続き、正確に用語の意味を理解するとともに、それらを活用する学習活動が望まれます。

中 2 英 語

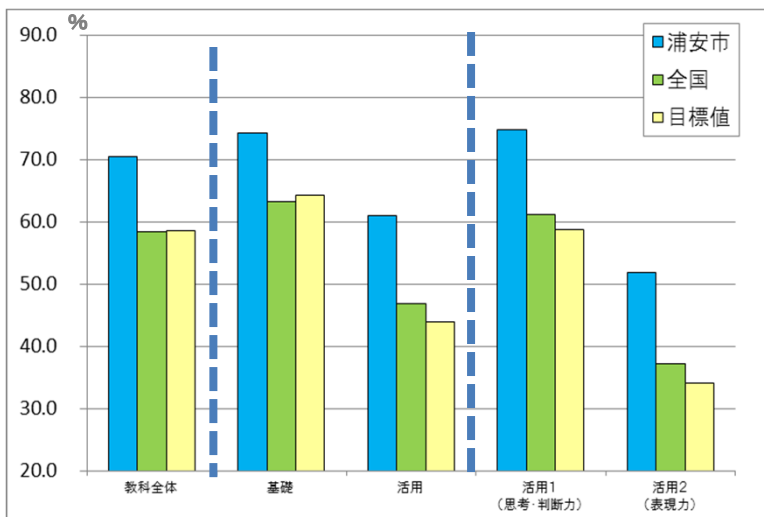


教科全体・観点別・領域別正答率 一覧表

分類	区分	平均正答率 (%)		目標値 (%)
		浦安市	全国	
教科全体		70.5	58.5	58.6
基礎		74.2	63.2	64.4
活用	思考・判断力	61.1	46.9	44.0
	表現力	74.8	61.3	58.8
観点	外国語表現の能力	52.0	37.2	34.2
	外国語理解の能力	62.9	49.3	48.1
	言語や文化についての知識・理解	72.0	60.3	60.0
領域	聞くこと	73.3	61.8	62.5
	読むこと	68.1	57.0	56.3
	書くこと	70.6	57.5	57.7

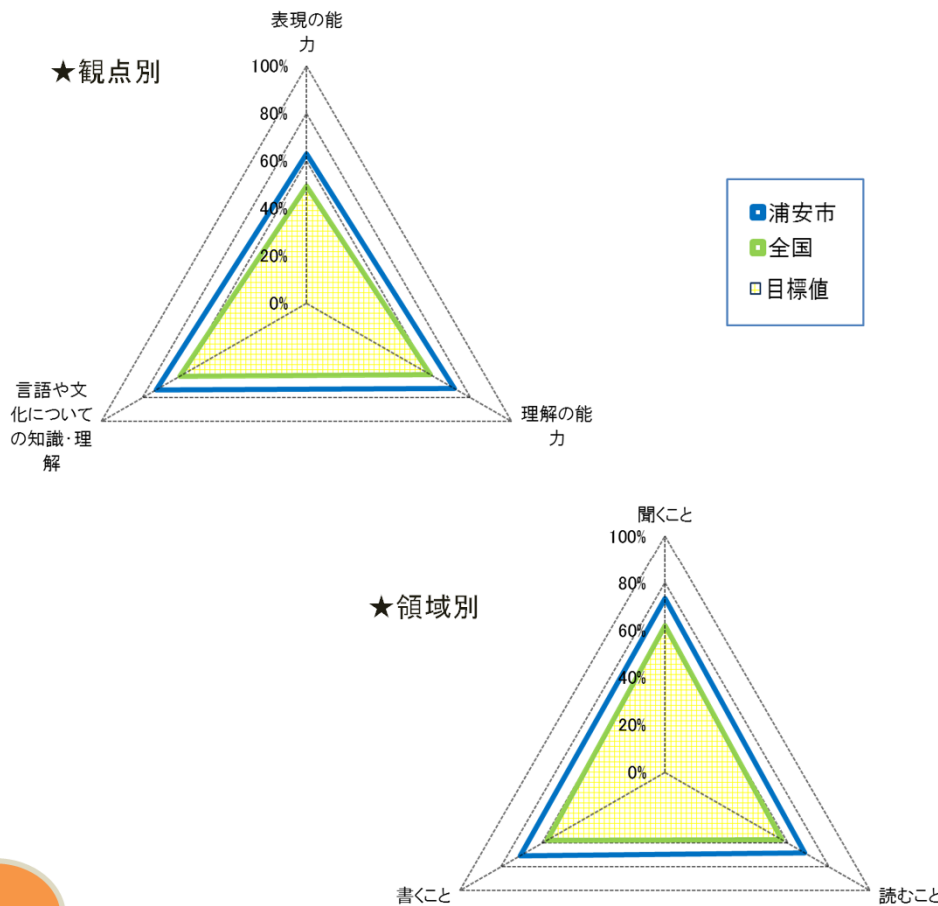
* 目標値とは、学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、小問ごとに正答できることを期待した児童生徒の割合を示したもので、「出題形式」や「解答形式」を基に初期設定した数値を、プレテスト等の検証を通じて適宜補正したものです。

教科全体 基礎・活用 正答率グラフ



「教科全体」は「基礎」と「活用」の合算値に、「活用」は「活用1」と「活用2」の合算値になっています。

観点別・領域別 レーダーチャート



概要

教科全体の正答率(70.5%)は、全国値(58.5%)を12.0ポイント上回っています。

全ての観点、領域において、目標値を大幅に上回っており、今後は発展的な学習内容をより多く取り入れていくことが望まれます。

参考

平成26年度と平成27年度 平均正答率一覧表

		平均正答率(%)					
		H26年度			H27年度		
		浦安市	全国	目標値	浦安市	全国	目標値
教科全体		67.1	58.8	58.6	70.5	58.5	58.6
観点	外国語表現の能力	57.0	47.9	48.1	62.9	49.3	48.1
	外国語理解の能力	69.1	61.4	60.0	72.0	60.3	60.0
	言語や文化についての知識・理解	70.6	61.7	62.5	73.3	61.8	62.5
領域	聞くこと	70.8	62.8	62.5	73.3	61.8	62.5
	読むこと	65.4	57.3	56.3	68.1	57.0	56.3
	書くこと	65.7	57.0	57.7	70.6	57.5	57.7

* 目標値とは、学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、小問ごとに正答できることを期待した児童生徒の割合を示したもので、「出題形式」や「解答形式」を基に初期設定した数値を、プレテスト等の検証を通じて適宜補正したものです。

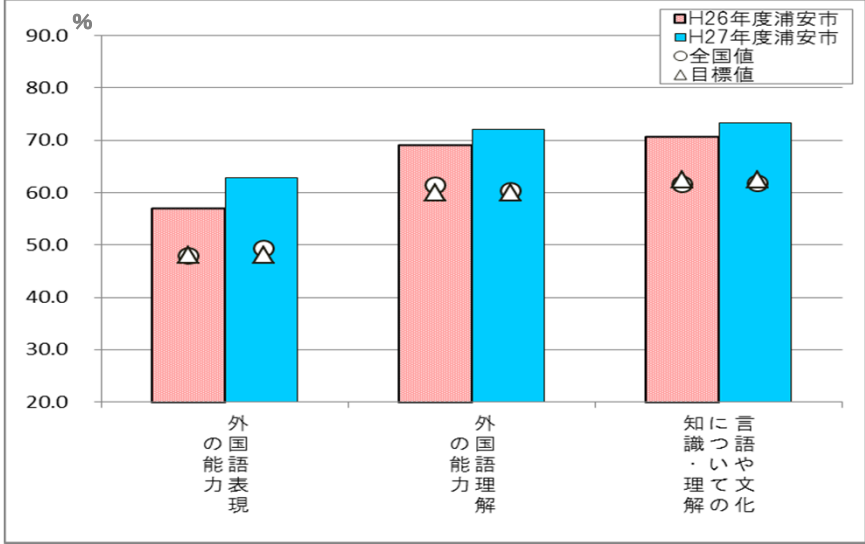
* 学習指導要領の改訂に伴い、H24年度とH25年度とは観点が変わっています。観点「外国語表現の能力」のH24年度の欄には、H24年度「表現の能力」の結果数値を、「外国語理解の能力」のH24年度の欄にはH24年度「理解の能力」の結果数値をそれぞれ入力しています。

注釈

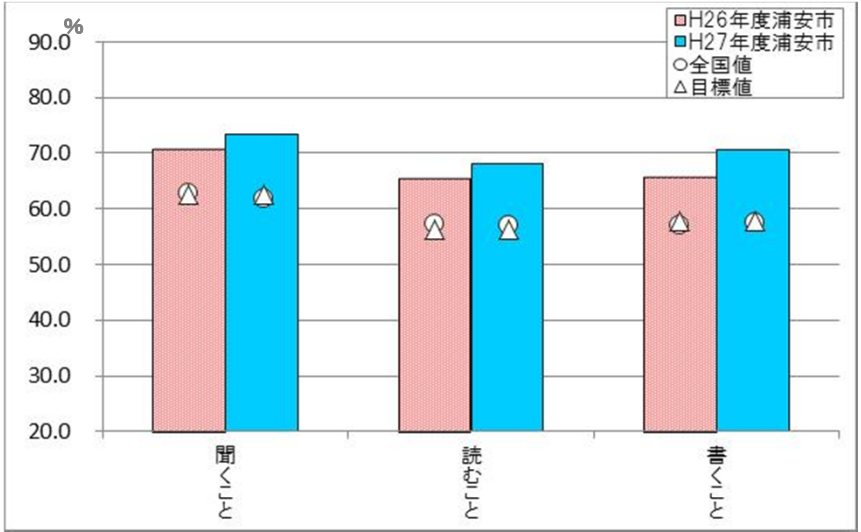
観点別にみると、H26年度と比較して、すべての観点において上回っています。
 領域別についても、H26年度と比較して、すべての観点において上回っています。

平成26年度と平成27年度 経年比較グラフ

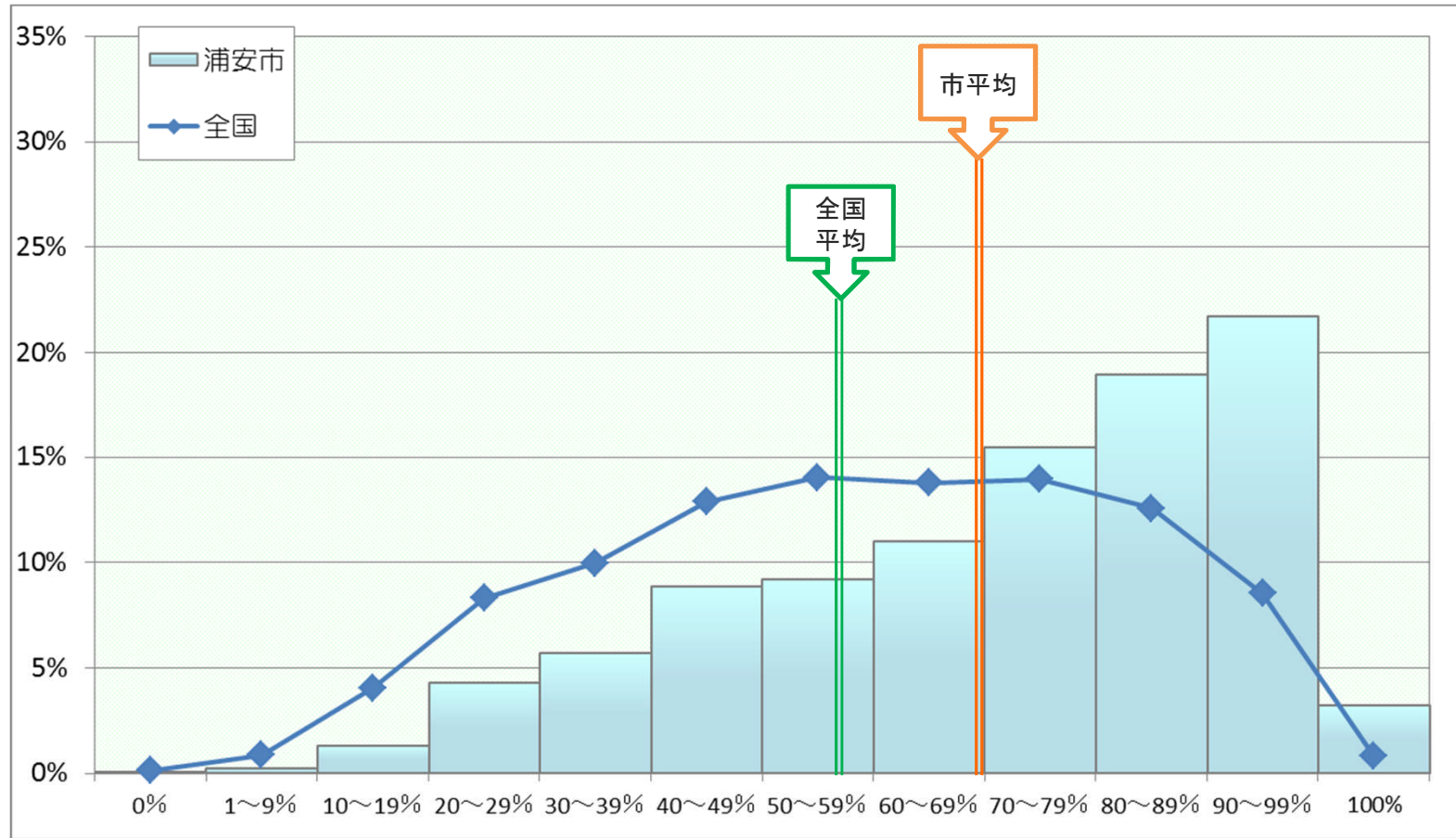
★観点別



★領域別



平成27年度正答率度数分布(%)



度数分布について

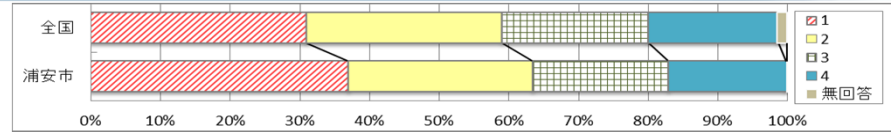
浦安市の正答率度数分布を見ると、70%以上の生徒の割合が全国は35%であるのに対し、浦安市は59%となっており、半数以上を占めています。特に80~89%、90~99%の層が全国より大きく上回っています。

平成27年度 質問紙調査結果

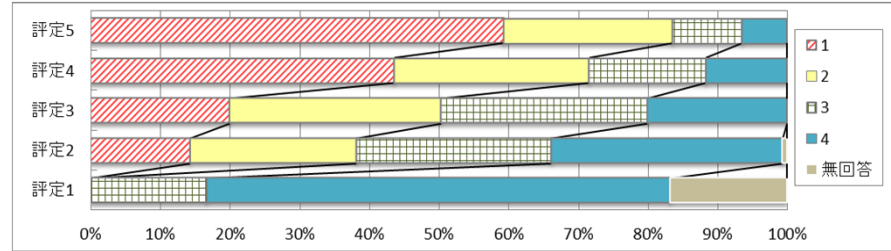
「英語の勉強は好きですか」

	1 好きだ	2 どちらかとい えば好きだ	3 どちらかとい えば好きではない	4 好きではない	無回答	
全国	31.0	28.2	21.0	18.6	1.3	
浦安市	37.1	26.5	19.5	16.8	0.2	
評定	5	59.4	24.3	10.0	6.4	0.0
	4	43.6	28.0	16.8	11.6	0.0
	3	20.0	30.4	29.6	20.0	0.0
	2	14.3	23.9	28.0	33.2	0.6
	1	0.0	0.0	16.7	66.7	16.7

★市全体と
全国との比較



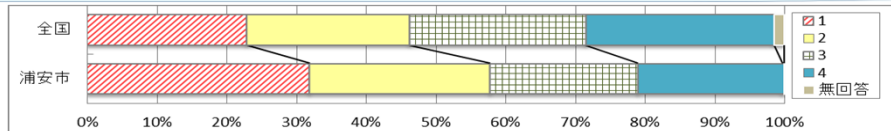
★学力調査の
評定別結果



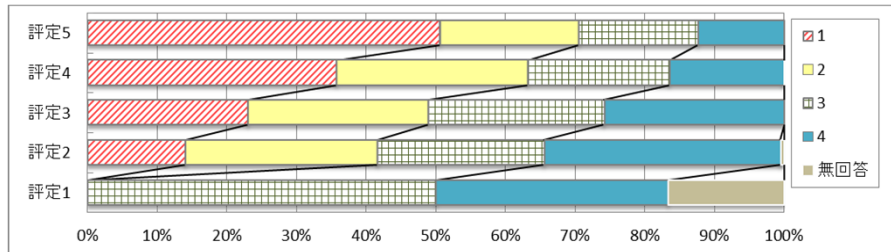
「テレビやラジオで英語番組を見たり聞いたりするなど、家庭で英語の勉強をすることはありますか」

	1 ある	2 どちらかとい えばある	3 どちらかとい えばない	4 ない	無回答	
全国	22.9	23.3	25.2	27.0	1.5	
浦安市	31.9	25.9	21.2	20.7	0.3	
評定	5	50.6	19.9	17.1	12.4	0.0
	4	35.7	27.4	20.4	16.3	0.2
	3	23.0	25.9	25.2	25.9	0.0
	2	14.0	27.6	23.9	33.9	0.6
	1	0.0	0.0	50.0	33.3	16.7

★市全体と
全国との比較



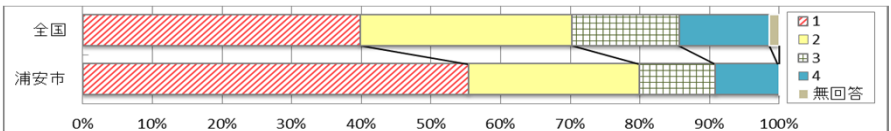
★学力調査の
評定別結果



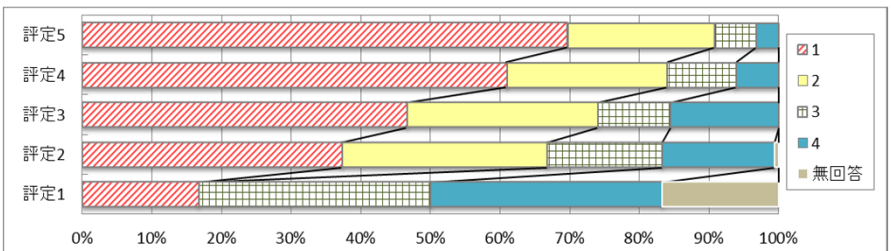
「英語の勉強をしたことで、生活の中で役に立つと感じることはありますか」

	1 ある	2 どちらかとい えばある	3 どちらかとい えばない	4 ない	無回答	
全国	39.9	30.4	15.4	13.0	1.4	
浦安市	55.4	24.6	10.9	9.0	0.2	
評定	5	69.7	21.1	6.0	3.2	0.0
	4	61.0	23.0	9.9	6.1	0.0
	3	46.7	27.4	10.4	15.6	0.0
	2	37.3	29.5	16.5	16.1	0.6
	1	16.7	0.0	33.3	33.3	16.7

★市全体と
全国との比較



★学力調査の
評定別結果



◎評定5・4: 学力調査結果が目標値を上回った生徒

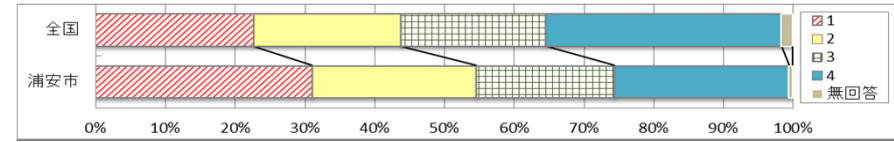
○評定3: 学力調査結果が目標値と同程度だった生徒

▲評定2・1: 学力調査結果が目標値を下回った生徒

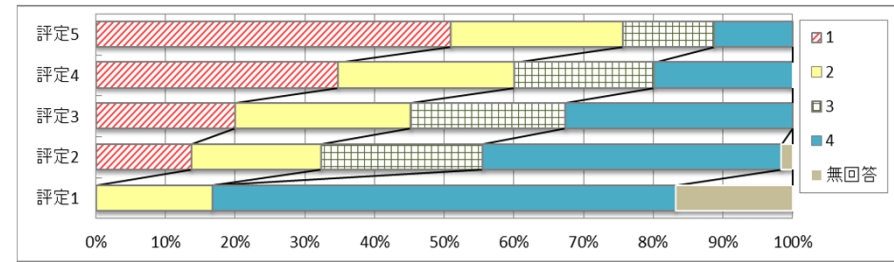
「英語の辞書(電子辞書を含みます)を使いますか」

	1 よく使う	2 どちらかとい えばよく使う	3 どちらかといえ ばあまり使わ ない	4 あまり使わな い	無回答	
全国	22.7	21.1	20.9	33.7	1.6	
浦安市	31.1	23.6	19.8	25.0	0.5	
評定	5	51.0	24.7	13.1	11.2	0.0
	4	34.8	25.3	20.1	19.7	0.2
	3	20.0	25.2	22.2	32.6	0.0
	2	13.7	18.6	23.3	42.9	1.6
	1	0.0	16.7	0.0	66.7	16.7

★市全体と
全国との比較



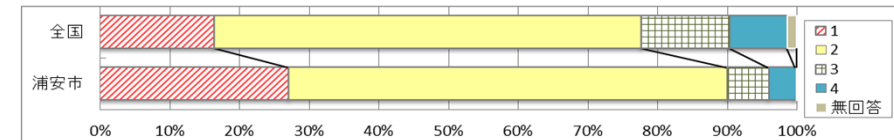
★学力調査の
評定別結果



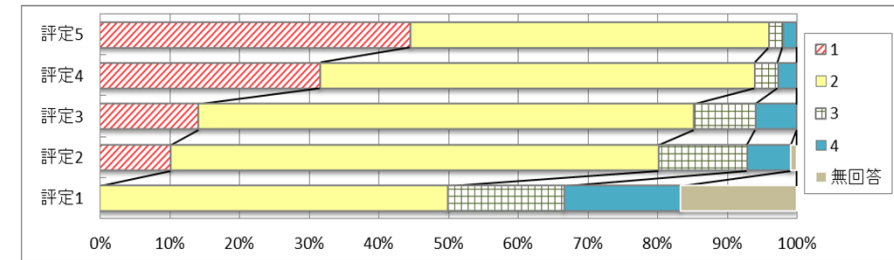
「学校の廊下で、外国人講師の先生に英語で話しかけられたら、あなたはどうしますか」

	1 積極的に英語で 会話しようとする	2 なんとか英語で会 話しようとする	3 日本語で会話し ようとする	4 黙ってしまう	無回答	
全国	16.4	61.2	12.7	8.3	1.4	
浦安市	27.1	62.9	5.9	3.8	0.3	
評定	5	44.6	51.4	2.0	2.0	0.0
	4	31.6	62.3	3.4	2.7	0.0
	3	14.1	71.1	8.9	5.9	0.0
	2	10.2	69.9	12.7	6.2	0.9
	1	0.0	50.0	16.7	16.7	16.7

★市全体と
全国との比較



★学力調査の
評定別結果



◎評定5・4: 学力調査結果が目標値を上回った生徒

○評定3: 学力調査結果が目標値と同程度だった生徒

▲評定2・1: 学力調査結果が目標値を下回った生徒

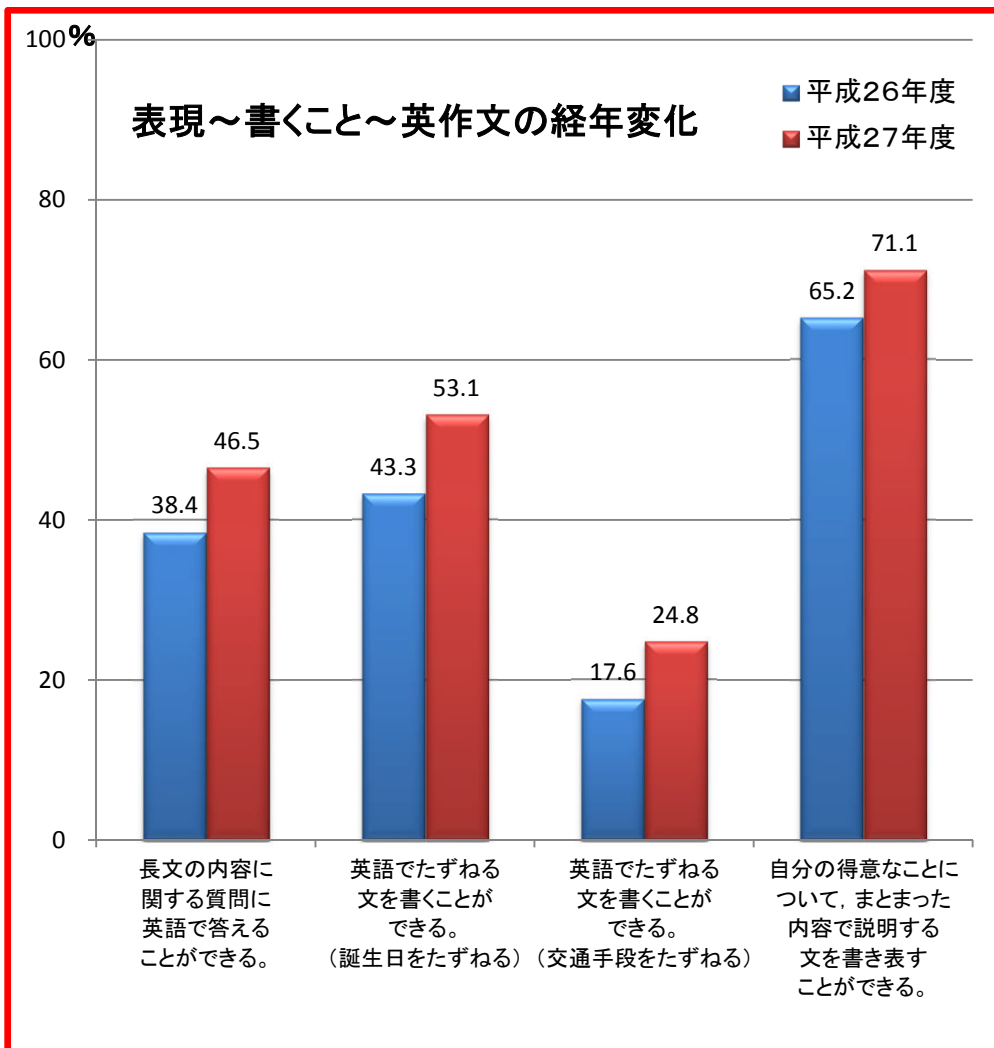
結果
について

家庭で英語の勉強をすることがある生徒や辞書を使う生徒の割合が、全国平均よりも10ポイント近く上回っています。英語の学習に積極的に取り組む生徒が多いといえます。

<優れている点・改善が見られた点>



【「表現—書くこと」の正答率が上昇】



【表現】書くこと 英作文

- 長文の内容に関する質問に**英語で答える**ことができる。
- 英語でたずねる文**（誕生日・交通手段）**を書く**ことができる。
- 自分の得意なことについて、**まとまった内容で説明する文を書き表す**ことができる。

昨年度の調査において課題であった「表現—書くこと」が、5ポイント以上増加しています。

<課題が見られる点>

【理解】読むこと 英文読解

誤答率が最も高かった問題

7 次の英文は、タクヤ(Takuya)が校内テレビ放送で話しているものです。よく読んで、あとの問いに答えなさい。

Look at this picture of a cat.

Last Wednesday, I played baseball with my friends at the park. I saw a *sick *stray cat there. I *took it to the animal *hospital near the park. And I went *home with it.

At home, I talked to my family about that. And we are *taking care of the cat now. I saw the cat on Wednesday. *so the name is Sui. Now Sui can *play in my house. And she can swim well, too!

~~I like cats very much, and Sui is the fifth cat in my house. We have five cats now!~~ They are too many for my family. Does *anyone want a cat? Cats are very interesting.

語数 **118語** = 中2 Lesson 3 教科書 **3** ページ分

内容 | タクヤが校内テレビ放送で自分の飼い猫である「スイ」について英語で話している場面

問題 | なぜ、名前をスイ(Sui)としたのか。

- ① タクヤが水曜日に見つけたから。 69.5%
- ② その猫はスイカが好きだから。 2.6%
- ③ タクヤは水色が好きだから。 2.4%
- ④ スイスイ泳げる猫だから。 **誤答率 24.6%**

限られた時間内で、まとまりのある文章を読んだうえで、概要や要点を読み取ることに課題が見られました。

<指導改善例>

▶ まとまりのある英文を読む機会をつくる
 ▶ どのような部分をどのように読めばよいのか、読み方を考えさせる指導を行う。

【日常の取組】

- 生徒の実態に応じた、まとまりのある英文を読む機会を設定する。
- 目的に応じた読み方の指導を行う。
 - － 概要の把握、要点の把握
- 読み物教材を工夫する。
 - － ポスターやグラフ、表や絵から読み取る。
 - － 説明文や物語から読み取る。
- ◆ 未習の語句を文脈から推測する指導を行う。

【学校・学年の取組】

中1 | 接続期

- 小学校外国語活動の音声中心の指導から文字指導への橋渡しを丁寧に行う。

全学年

- 3年間を通じた辞書の利活用を行う。
- 4技能を統合させた言語活動の設定
 - － 読む活動で終わりにするのではなく、書く・話す・聞く活動につなげる。
- ◆ 定期テストの読解問題の改善を図る。

